



東洋大学

TOYO COMPASS 2024

TOYO UNIVERSITY REPORT



ALL for the FUTURE. ALL from PHILOSOPHY.

哲学を通して世界の本质を見極め、

倫理的な考え方に基づき、他者と協働して一歩踏み出す。

哲学を基礎とする教育から、東洋大学は未来づくりに貢献する。

哲学教育を礎とし世界に通用する人材を育てる

1887(明治20)年に哲学者井上円了が創立した「私立哲学館」から、その歴史が始まった東洋大学。急速な近代化と共に日本社会が大きく変わろうとしていたこの時代、日本人の拠り所を取り戻すためには「哲学」が必要であると円了は考えました。哲学館では、いわゆる哲学者を養成するのではなく、哲学を通じて知力を磨き、社会で活躍できる人材を育成することを教育目標としました。現在の東洋大学も、井上円了の理念を受け継ぎ、社会に資する人材を育てています。

創立者井上円了とは？

1858(安政5)年、新潟県長岡市浦の慈光寺の跡取りとして誕生。漢学や洋学などを学んだ後、1881年(明治14)年に東京大学文学部哲学科に入学し、「真理は哲学にある」ことを確信しました。29歳の若さで東洋大学の前身となる哲学館を創立して学校教育に邁進。また、全国巡回講演や3回もの海外視察を行うほか、精神集中の場としての哲学堂公園の建設にも身を捧げ、1919(大正8)年に生涯を閉じるまで、社会教育にも力を尽くしました。



詳しくはこちら >>>



歴史からひも解く東洋大学

- 1887 井上円了が本郷区龍岡町の麟祥院内に私立哲学館(東洋大学の前身)を創立
- 1897 小石川区原町に新校舎落成(現・白山キャンパス)
- 1899 私立京北尋常中学校※を開設
※東洋大学京北中学高等学校
- 1905 京北幼稚園※を開設
※東洋大学附属京北幼稚園
- 1906 私立東洋大学と改称
- 1916 日本の私立大学で初めて女子の入学を許可
- 1920 「私立」の冠称が廃止され、東洋大学へ改称
- 1949 新制大学に移行、文学部を設置
- 1952 大学院を設置
- 1961 川越キャンパス(埼玉県)を開設
- 1963 東洋大学附属姫路高等学校(兵庫県)を開設
- 1964 東洋大学附属牛久高等学校(茨城県)を開設
- 1977 朝霞キャンパス(埼玉県)を開設
- 1997 板倉キャンパス(群馬県)を開設
- 2005 朝霞キャンパス(文・経済・経営・法・社会学部)の1・2年次を白山キャンパスに統合し、4年間一貫教育開始
- 2006 大手町サテライト(東京都)を開設
白山第2キャンパス(東京都)を開設
- 2011 総合スポーツセンター(東京都)完成
学校法人京北学園と法人合併し、京北中学校・高等学校、京北学園白山高等学校、京北幼稚園を併設校とする
- 2012 創立125周年を迎える
125周年記念館(8号館)にて記念式典を挙げる
- 2014 東洋大学附属姫路中学校(兵庫県)を開設
文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業(タイプB)」採択
- 2015 京北中学校・高等学校が東洋大学京北中学高等学校に校名変更し、東京都文京区白山に移転
東洋大学附属牛久中学校(茨城県)を開設
- 2017 赤羽台キャンパス(東京都)を開設
- 2021 赤羽台キャンパスに「WELLB HUB-2」が完成
ライフデザイン学部・ライフデザイン学研究科が赤羽台キャンパスに移転
- 2023 赤羽台キャンパスに新校舎「HELSPH HUB-3」が完成
赤羽台キャンパスに福祉社会デザイン学部と健康スポーツ科学部を開設
- 2024 朝霞キャンパスを再整備、新校舎が完成
生命科学部と食環境科学部が朝霞キャンパスに移転

大学が目指すべき未来

理事長・学長メッセージが
Webでご覧いただけます。



常に変化し、

大学として進歩を続ける



学校法人東洋大学 理事長

Chairman, Toyo University
Incorporated Educational Institution

安齋 隆

Takashi Anzai

1941年生まれ。東北大学法学部卒業。日本銀行、(株)日本長期信用銀行(現・(株)新生銀行)頭取、(株)アイワイバンク銀行(現・(株)セブン銀行)社長などを経て、2009年12月学校法人東洋大学理事に就任し、2018年12月から現職。

社会のニーズに的確に対応した運営を推進

地球温暖化に起因する異常気象や、生成系AIをはじめとするデジタル領域の急速な進化など、変化が激しく予測困難な現代社会。今後も学校法人が発展していくためには、各校を取り巻く環境や学生のニーズの変化に対して、的確な対応が求められています。“変化なくして進歩はない”と強く感じると共に、この危機感を大学や附属校の良い変化に結び付けていければと思います。安定した大学運営のためには、「選ばれる大学」になることが最優先事項です。重ねて、教育の質を向上させ、学生や保護者からの評価も高めなければなりません。「教育」には“teach”と“educate”の2種類があり、教える“teach”とは違い、大学は主体的に学ぶ“educate”です。新学習指導要領でアクティブ・ラーニングの視点を学んできた学生たちのニーズに応えるべく、主体的に物事の真理を探究できる学びができるよう、東洋大学は常に変化を続けてきました。その成果は、学生や卒業生の活躍として表れていると思っています。大学には、次世代を担う若者が絶えず入学し、学び続けるのですから、教職員も学生に負けず、変化を拒まずに知識をアップデートしていく必要があると考えます。

東洋大学は創立者井上円了の目指した「余資なく、優暇

なき者」のための「社会教育」と「開かれた大学」の理念を継承し、リカレント教育にも注力して日本の社会人教育の一翼を担ってきました。ただ教育を提供するだけでなく、社会のニーズにあわせて内容を変化していることが、社会から評価をいただいている理由であると考えています。

オール東洋で教育の質向上に努める

東洋大学は、「AA」の格付けを取得し※、健全経営で運営しています。コロナ禍では、オンライン授業実施に伴う学習環境の整備のために、一人一律5万円、総額15億円の特別修学支援金を給付しました。安定した経営状態だからこそ、教育環境への投資や学生のサポートが可能なのです。また、経営基盤の安定は良い教員の獲得および教育の質向上にもつながります。日本にはインフレの波が来ており、各種経費の高騰は悩みの種ではありますが、教育の質を向上させる努力は決して怠りません。

戦争や権威主義国家の台頭による国際社会の分断が進む中、東洋大学は附属校とともに「オール東洋」として団結し、未来を拓いていきます。文理の垣根を超えて協働し、デジタル技術を活用してつながりを深め、分断が進む世界を良い方向に変えられればと思います。

哲学する精神と幅広い知識を探究する学生を育成

東洋大学は哲学者井上円了によって創設され、「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」を建学の精神としています。教育を通して、自己の哲学(人生観・世界観)を持ち、時代がどんなに大きく動いたとしても物事の本質を見極めて深く考え、社会課題に自主的に取り組める学生を育成したいと考えています。私たちが未来を創るためには、“過去に学ぶ”ことが必要不可欠です。AIをはじめとするデジタル技術を用いて効率よく知識を得るだけでなく、哲学する精神を忘れず、未来へと自ずから踏み出す学生を育てていきます。未来を拓く学生を育てるために、東洋大学は次の3点に注力しています。1つ目は、大学改革です。2024年4月に、朝霞キャンパスが生まれ変わりました。命と食に関わる新しい教育・研究に挑戦し、改革を続ける大学でありたいと思います。2つ目は次年度に向けた大規模なカリキュラム改革です。キャンパスや文理の垣根を超えた「総合知」獲得のための学びが可能になるよう、カリキュラムの再編を検討しています。学びの在り方を大きく変える試みにご期待ください。3つ目はスポーツを通じたキャンパス文化の醸成。2024年に開催されるパリオリンピック・パラリンピックに、在学生やOBOG等10名以上出場予定です。アスリートの支援だけでなく応援にも力を入れ、平和の祭典に貢献します。

多様性あふれる教育や研究を推進

教育・研究に関する中長期計画では、5つの柱を定めて取り組みを進めています。1つ目は学生の学びを支えるシステムの開発です。3万人以上の学生が一人ひとり豊かな学修機会にたどり着ける羅針盤のようなシステムを目指し、教育DXを推進します。2つ目はキャリア支援です。多様性にあふれる学生一人ひとりのキャリア展望を意識し、3万通りのサポートを行います。3つ目は大学のグローバル化です。文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業終了後、これまでの成果をさらに発展させるべく、SDGsと掛け合わせ社会課題の解決につなげていきます。4つ目は大学のブランド力を強化する研究活動です。14学部49学科を擁する総合大学のメリットを生かし、文理の枠を超えた独創的な研究を推進。創立者の教えを受け継ぎ、本学の理念を体現するために、全学的な組織を新設し、研究の集約と哲学的考察を行います。5つ目はリカレント教育。社会人のリカレント/リススキリング需要に応えられるプログラムを整備し、世界中の人々に対して東洋大学の学びを提供します。東洋大学の魅力は、多様性をお互いに認め合える環境です。哲学というしっかりとした土台があるからこそ、学生や教職員の個性が花開くのです。個性のパラダイスである東洋大学が創る未来に、ぜひ注目していただきたいと思います。

哲学を基礎として、

一人ひとりの個性を磨く

東洋大学 学長

President, Toyo University

矢口 悦子

Etsuko Yaguchi

1956年生まれ。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科(博士課程)単位取得満期退学。博士(人文科学)。専門分野は社会教育学・生涯学習論。複数大学の非常勤講師および他大学教授を経て、2003年4月から東洋大学文学部教授。文学部長などを歴任し、2020年4月から現職。



※学校法人東洋大学は、2024年1月17日に、株式会社日本格付研究所(JRC)より、長期発行体格付の「AA」を取得し、その見通しは「安定的」と評価されました。

東洋大学の価値創造のプロセス

地球社会の明るい未来を拓く

建学の精神と教育理念を基盤に大学の使命を体現する、TOYO GRAND DESIGN 2020-2024を軸に新たな価値を創造し、地球社会の未来に貢献します。



建学の精神

- 「諸学の基礎は哲学にあり」
- 「独立自活」
- 「知徳兼全」

東洋大学の教育理念

自分の哲学を持つ

多様な価値観を学習し理解するとともに、自己の哲学(人生観・世界観)を持つ人間を育成する。

本質に迫って深く考える

先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方、論理的・体系的に深く考える人間を育成する。

主体的に社会の課題に取り組む

社会の課題に自主的・主体的に取組み、よき人間関係を築いていける人間を育成する。

東洋大学の心

他者のために自己を磨く

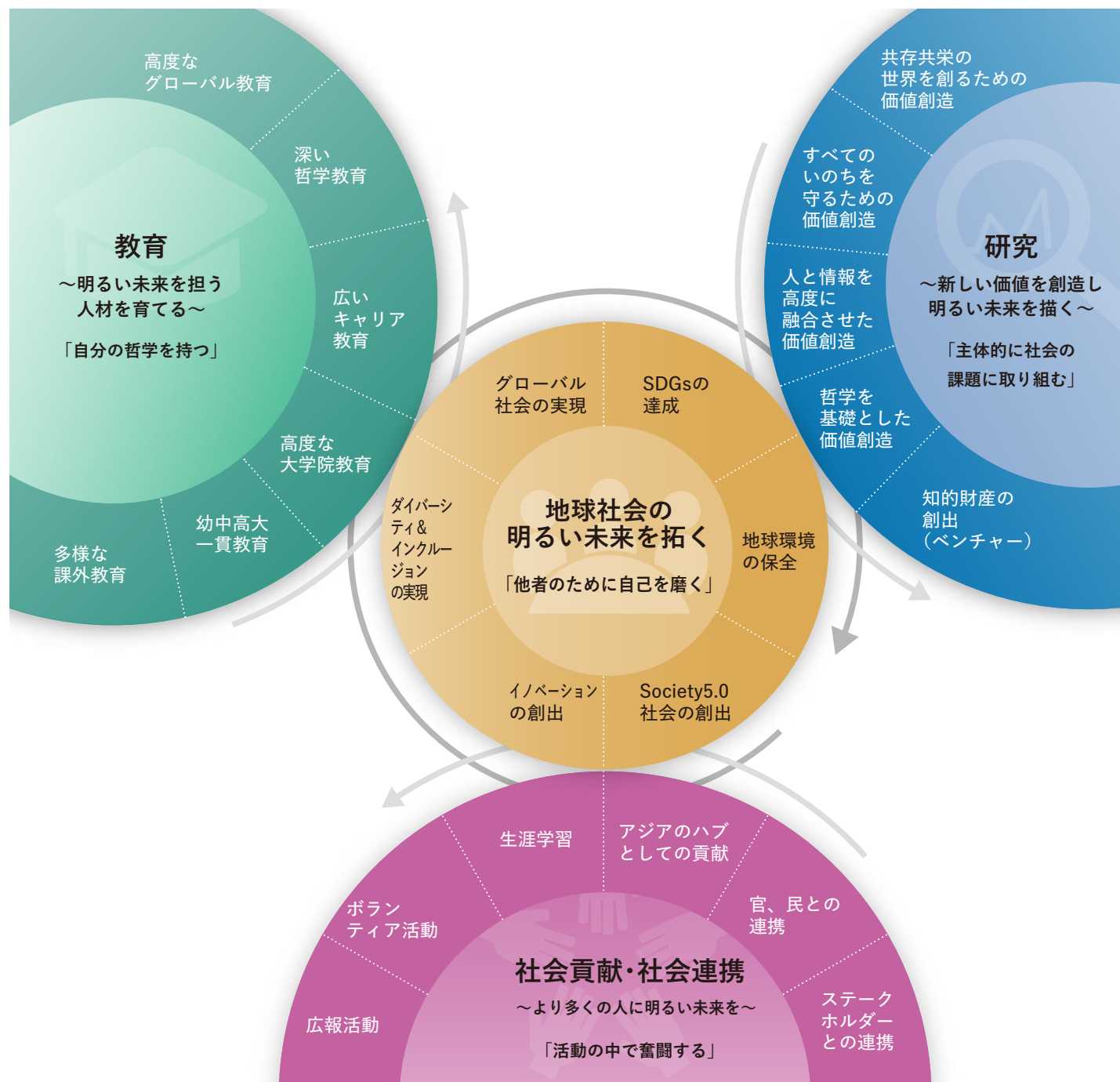
自分を磨くのは、人々のためにはたらくことができるようになるためであり、そのことを自覚して学業に励むのが東洋大学の心である。

活動の中で奮闘する

現実社会における活動の中にどこまでも前進してやまないのが、東洋大学の心である。

TOYO GRAND DESIGN 2020-2024

学校法人東洋大学 中期計画



地球社会の未来に貢献する

研究

研究の高度化を教育の高度化、そして社会貢献の高度化につなげるべく、東洋大学から新しい価値を創造する研究を推進する。複雑化した現代社会の課題に対応するため、他分野の研究者がチームとなり、大学が推進する重点研究プログラムを中心に研究を進める。

教育

建学の精神のもと、高度な専門教育と並び、学部の特長を超えた基盤教育体系の構築や、全学的なグローバル教育を推進する。総合学園として、変化の激しい時代の中で動じない自分の哲学を持ち、未来を担う人材を育成する。

社会貢献・社会連携

東洋大学や附属各校が持つ十分なりソースをもとに、多分野の「知」を生かし、身近な地域から世界まで広く・深く貢献する。本学の研究・教育活動で得た知見をもとに、学生や教職員が奮闘し、多くの人々に明るい未来を届ける。

新規事業計画

大きな社会変革に直面するなかで、常に変化を見据え、時代に即した教育・研究を展開できる体制を整備する。大規模なキャンパスの再編や学部・学科の改編など、2037年に迎える150周年に向けてインパクトある計画を進める。

ガバナンス・マネジメント

複雑化する社会情勢の中で持続可能な学園経営を実現するため、法改正により求められる法人ガバナンス強化に加え、財務・人事・ファシリティをベースとした各種マネジメントの高度化に取り組む。

地球社会の発展に挑み続ける東洋大学

2012

未来宣言

「哲学すること」の教授を根本として、世界標準の教育・研究・社会貢献活動を推進するのみならず、国際的に優れた水準の大学の実現を目指し、東洋大学が一体となって新しい歴史を創出し、進化し続けることを宣言した。

2014

TOYO GLOBAL DIAMONDS 構想 (TGD構想)

独自プログラムや先進的教育組織の新設により、グローバルリーダーを育成。また、人事・教務システムの改革を通じて、大学改革と国際化を推進した。この構想は、文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業(タイプB)に採択された。

2016

Beyond2020

「グローバリゼーション」「イノベーション」「クリエイティビティ(創造力)」「ヒューマンバリュー(人間価値)」の4つのキーワードをもとに5つの行動目標を策定し、教育活動の“進化”と“深化”を実現した。

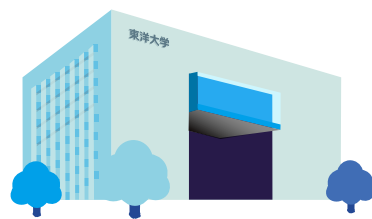
2020

TOYO GRAND DESIGN 2020-2024

研究の高度化、ひいては新しい価値の創造により、地球社会の明るい未来をデザインする。この高度な研究は教育のレベルを引き上げ、未来を担う人材の育成に寄与。さらに、研究と教育を通じて、社会貢献・社会連携活動を活性化させ、より良い未来の実現に貢献することを目指す。

数字で見る東洋大学

▶ 学部学科数 (2024年度)



14 学部
49 学科・専攻

▶ 学生数 (2024年度)

31,885 名



▶ 教員数 (2024年度)

803 名



※2024年5月1日現在の暫定数であり、変更になる場合があります。

▶ 第2部・イブニングコース入学定員 (2024年度)

意欲ある学生が一人でも多く学べるように、学費を抑えた第2部・イブニングコースを6学部8学科に設置。夜間学部の定員数は日本の大学で最大規模であり、全私立大学夜間部学生の約28%が東洋大学に通っています。

710 人

▶ 外部評価

評価
16 年連続



東洋大学は、2024年1月に株式会社日本格付研究所 (JCR) より、16年連続で長期発行体格付の「AA」(ダブルAフラット)、21段階の上から3番目の格付を取得。格付の見通しは「安定的」とされました。格付事由は、「強い学生獲得力を維持していること」「強い財務基盤」などが挙げられています。

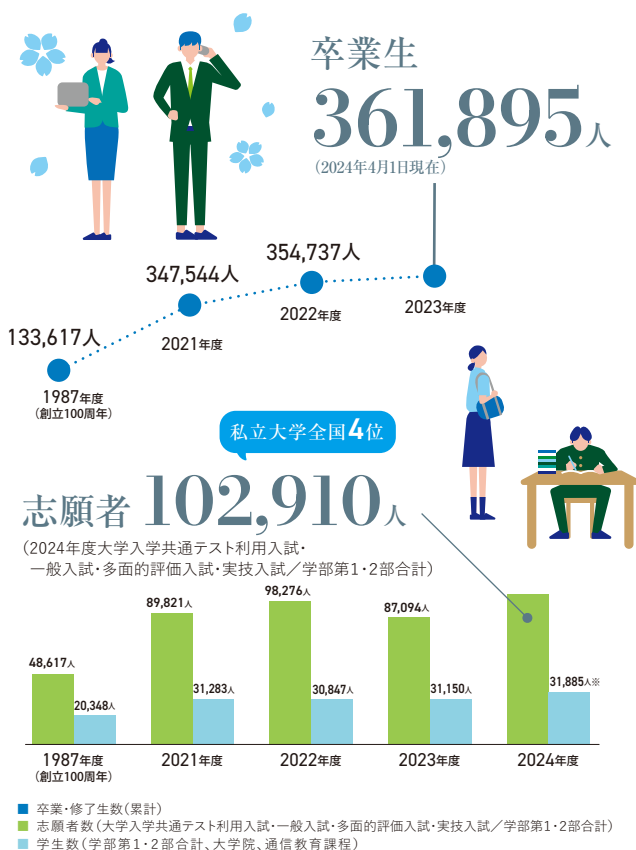
▶ 地域貢献

日本経済新聞社発行『日経グローバル』11月6日号で発表された「大学の地域貢献度に関する全国調査2023」において、東洋大学が東京都私立大学の中で1位を獲得しました。今後も地域貢献に資する大学となるよう努めてまいります。



東京都私立大学

▶ 卒業生・志願者数・学生数の推移



2024年度大学入学共通テスト利用入試・一般入試・多面的評価入試・実技入試志願者数は102,910人で、これは国内590校の私立大学で4番目の規模です (2024年度入試の結果はP24に掲載)。また、これまでの卒業・修了生は35万人を超え、それぞれ社会の第一線で活躍しています。

※2024年5月1日現在の暫定数であり、変更になる場合があります。

▶ 海外留学・研修派遣者総数 (8年間)



▶ 海外との協定件数 (2024年3月31日現在)

大学間 40 カ国・地域 264 協定
部局間等 33 カ国・地域 101 協定

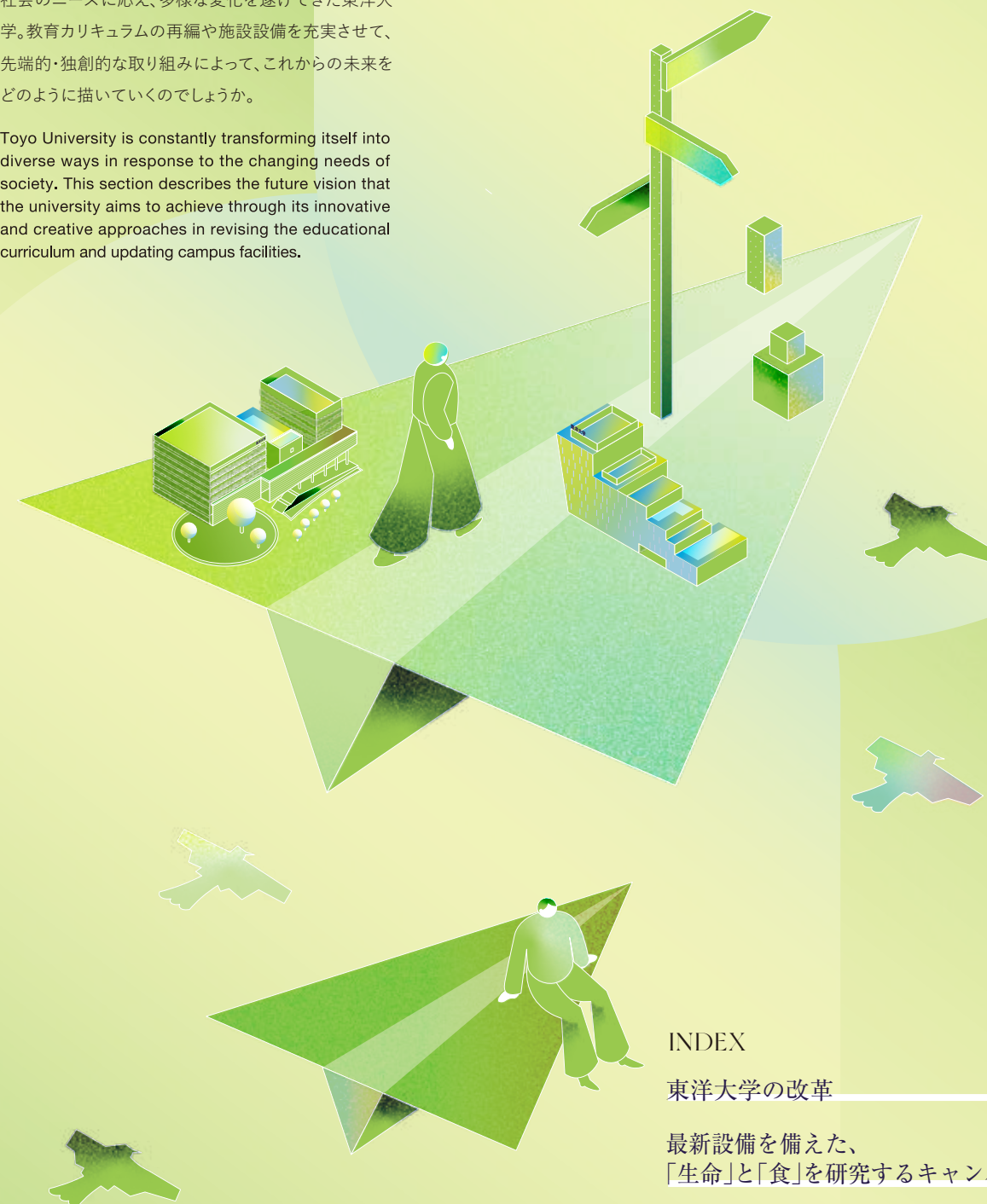
詳しくはP28に掲載

特集

TOYO FUTURE DESIGN

社会のニーズに応え、多様な変化を遂げてきた東洋大学。教育カリキュラムの再編や施設設備を充実させて、先端的・独創的な取り組みによって、これからの未来をどのように描いていくのでしょうか。

Toyo University is constantly transforming itself into diverse ways in response to the changing needs of society. This section describes the future vision that the university aims to achieve through its innovative and creative approaches in revising the educational curriculum and updating campus facilities.



東洋大学がデザインする未来の形

INDEX

東洋大学の改革 P.09

最新設備を備えた、「生命」と「食」を研究するキャンパス P.11

最先端の学び 東洋大学情報連携学部 (INIAD) の教育 P.13

TOYO FUTURE DESIGN 東洋大学がデザインする未来の形

東洋大学の改革

Toyo University's reforms

東洋大学は、時代の変化にあわせて改革を続けています。グローバル社会に対応した教育、最先端の設備を備えたキャンパスの整備、新時代に必要な学びに対応した新学部、デジタル技術を用いた教育システム開発やDX人材育成などを展開。学生のニーズに応えた教育を提供し、社会が求める人材を育成しています。

Toyo University continues to reform itself to better meet the changing needs of the times by: promoting globally-oriented education; enhancing the campus environment by introducing state-of-the-art facilities; opening a new faculty to acquire knowledge and skills essential in the new era; developing educational systems using digital technology; and training specialists in digital transformation (DX). By The university provides education tailored to the needs of students, and aims to develop individuals with the ability to contribute to society.



AI・IoT時代にふさわしい
最先端の学びを提供

赤羽台キャンパスを開学
赤羽台キャンパスに新校舎
「INIAD HUB-1」が完成
国際学部、国際観光学部、
情報連携学部の3学部を新設



新時代のwell-being実現をめざす

赤羽台キャンパスに新校舎
「WELLB HUB-2」が完成
ライフデザイン学部を
赤羽台キャンパスに移転

2021

文部科学省「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン」に「『学生一人ひとりの成長を約束する学修者本位の教育の実現』～“3万人のLearning Journey”の羅針盤～」が採択(2021年)

2017

世界で活躍する
グローバルリーダーを育成

文部科学省
「スーパーグローバル大学
創成支援〈タイプB〉」に採択

2014

生命と食に関する
教育研究環境をさらに充実

朝霞キャンパスを再整備
生命科学部と食環境科学部を朝霞キャンパスに移転

「環境イノベーション学部(仮称)※新設計画」が大学改革支援・学位授与機構「大学・高専機能強化支援事業(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)」に選定(2023年)

※P.12「川越キャンパス“リデザイン”」参照

「ビジネス日本語教育を通じた高度日本語人材と多文化共生グローバル人材の育成プログラム」が、文部科学省「大学の世界展開力強化事業ーインド太平洋地域等との大学間交流形成支援ー」に採択(2022年)

2022

「Open Smart Cityに向けたDX人材育成プログラム」が文部科学省「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」に採択(2022年)

仲間と暮らし
「共生」する力を伸ばす

赤羽台キャンパスに
国際交流宿舎
「AI-House HUB-4」を開設
※2022年グッドデザイン賞を受賞



より良い生活・環境を追究し、
大学と地域をつなぐ

赤羽台キャンパスに新校舎
「HELSP0 HUB-3」が完成
福祉社会デザイン学部と
健康スポーツ科学部を
赤羽台キャンパスに新設



詳しくはこちら >>>



01

TOYO FUTURE DESIGN

東洋大学がデザインする未来の形

「生命」と「食」を研究するキャンパス

Campus with state-of-the-art facilities
for the study of life and food

2024年4月より、埼玉県朝霞キャンパスは、最先端の教育研究設備を充実させ、「生命(いのち)と食」に関する総合的な教育研究拠点として生まれ変わりました。朝霞キャンパスには生命科学部と食環境科学部が移転し、新学科を含む2学部6学科の学生が新たな学び舎で研究に邁進。学部学科間を超えたつながりからイノベーションを創出し、地球規模の課題解決に挑みます。

In April 2024, the Asaka Campus in Saitama Prefecture was reborn as “a creative hub for life and food sciences.” Complete with state-of-the-art educational and research facilities, this campus serves as a center for studies relating to life and food, accommodating the Faculty of Life Sciences and the Faculty of Food and Nutritional Sciences relocated from another campus, together with their two Faculties and six Departments, including newly-established ones. Here, students work together across the boundaries of the faculties and departments to develop innovations and tackle global issues.

朝霞キャンパス

生命科学部・食環境科学部が 板倉キャンパス等から朝霞キャンパスに移転

再整備した埼玉県朝霞キャンパスは、2024年度から授業がスタートしました。生命科学部・食環境科学部・生命科学研究科・食環境科学研究科が群馬県板倉キャンパスから、理工学部生体医工学科・理工学研究科生体医工学専攻が埼玉県川越キャンパスから、それぞれ朝霞キャンパスに移転しました。新しい生活様式を踏まえた教育研究施設の中で、積極的な学内連携を実現し、充実した学びを提供します。



2024.4
renewal!

生命科学部

生命の謎を解き明かす

動物や植物、人体などさまざまな生命現象を分子レベルで解明。「いのち」のあり方を思索する哲学と倫理を基盤に生命科学の深い専門知識を獲得し、再生医療や食料・環境問題の解決に貢献します。



TOPICS

理工学部生体医工学科は、教育・研究の拠点を川越キャンパスから朝霞キャンパスに移し、生命科学部生体医工学科として生まれ変わりました。生物学・医学と工学を融合し、ものづくりへと具現化する生体医工学の研究やバイオメディクス技術の活用により、医療・福祉分野における諸課題を解決し、人類の健康と福祉に貢献します。

食環境科学部

「食」を総合的・科学的に学ぶ

いのちと深く関わる「食」について、あらゆる分野を網羅的に学びます。食品の安全、運動と栄養の関係など専門知識を身に着け、持続可能な社会の実現に貢献するプロフェッショナルを目指します。



TOPICS

新たにフードデータサイエンス学科を開設しました。食の歴史や制度などの知識を学ぶ「フードシステム学」と多種多様なデジタルデータの分析スキルを身に着ける「データサイエンス」の学びを融合。データの力で食物の生産、物流、付加価値の創出、安定供給を支え、食の未来を創造する「フードサイエンティスト」を育成します。

詳しくはこちら >>>



NEXT TOPICS

川越キャンパス“リデザイン”(再構築)

2027年4月、川越キャンパス(埼玉県)は生まれ変わります

2025年～2027年、新学部「環境イノベーション学部(仮称)*」を設置、理工学部、総合情報学部の学科再編、新校舎建設により、川越キャンパスは新たな価値を創出する「SMART GREEN CAMPUS」に生まれ変わります。
※2024年6月現在、設置構想中。学部名称は仮称であり、計画内容等は変更となる場合があります。



TOYO FUTURE DESIGN

東洋大学がデザインする未来の形

03

最先端の学び

東洋大学情報連携学部（INIAD）の教育

Cutting-edge education at the Faculty of
Information Networking
for Innovation and Design (INIAD)

東洋大学情報連携学部（INIAD）は、2017年4月に開設されました。情報通信技術が飛躍的に進化した現代社会において、DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進する人材の育成を目標としています。大学設備やカリキュラムを常に見直し、バージョンアップを継続。デジタル社会の基礎となるプログラミングを身に着け、他者と連携しながら、社会変革に貢献する力を養います。

Against the backdrop of the rapid progress of information and communication technology in today's society, Toyo University established the Faculty of Information Networking for Innovation and Design (INIAD) in April 2017, with the aim of developing individuals capable of leading the digital transformation (DX). The university regularly reviews its campus facilities and curriculum to continue upgrading the quality of education, with a view to helping students acquire programming skills that are essential in a digital society and the ability to facilitate social changes in cooperation with others.

INIADの理念

AI時代の「自分の頭で考える」教育

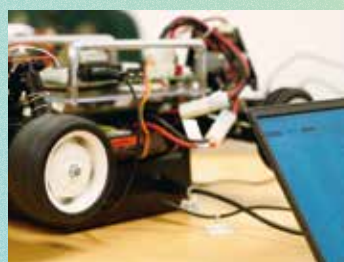
哲学者井上円了の理念を受け継ぎ、INIADは「自分の頭で考える」ことを重視しています。論理的思考力を深めるための壁打ち相手として、ChatGPTの一般公開初期より積極的に活用。AI時代に必要とされる知識とスキルを身に着けるだけでなく、自分自身を疑い、新しいアイデアを生み出すことができる自己実現型人材を育成します。



「AI-MOP」

—GPT-4を活用した教育システム

2023年4月から「AI-MOP」(AI管理運用プラットフォーム)を導入し、全学生が生成AI「GPT-4」を利用して学んでいます。学生はSlackを通じてGPT-4と会話することで高度な思考力を身に着け、効果的な自学自習を実現できます。一方教員は、学生の利用状況を追跡し、学習の進捗を確認できます。



CLOSE UP!

社会との連携 INIAD cHUB

組織を超えたオープンな連携こそがイノベーションを加速させる鍵との発想から、INIAD cHUB(東洋大学情報連携学 学術実業連携機構)を設立しました。cHUBによるコンサルティングや共同研究、セミナー開催などさまざまな形態を組み合わせ、すばやく外部企業・団体・組織と連携し、大学とビジネスの連携のハブとなることを目指します。



詳しくはこちら

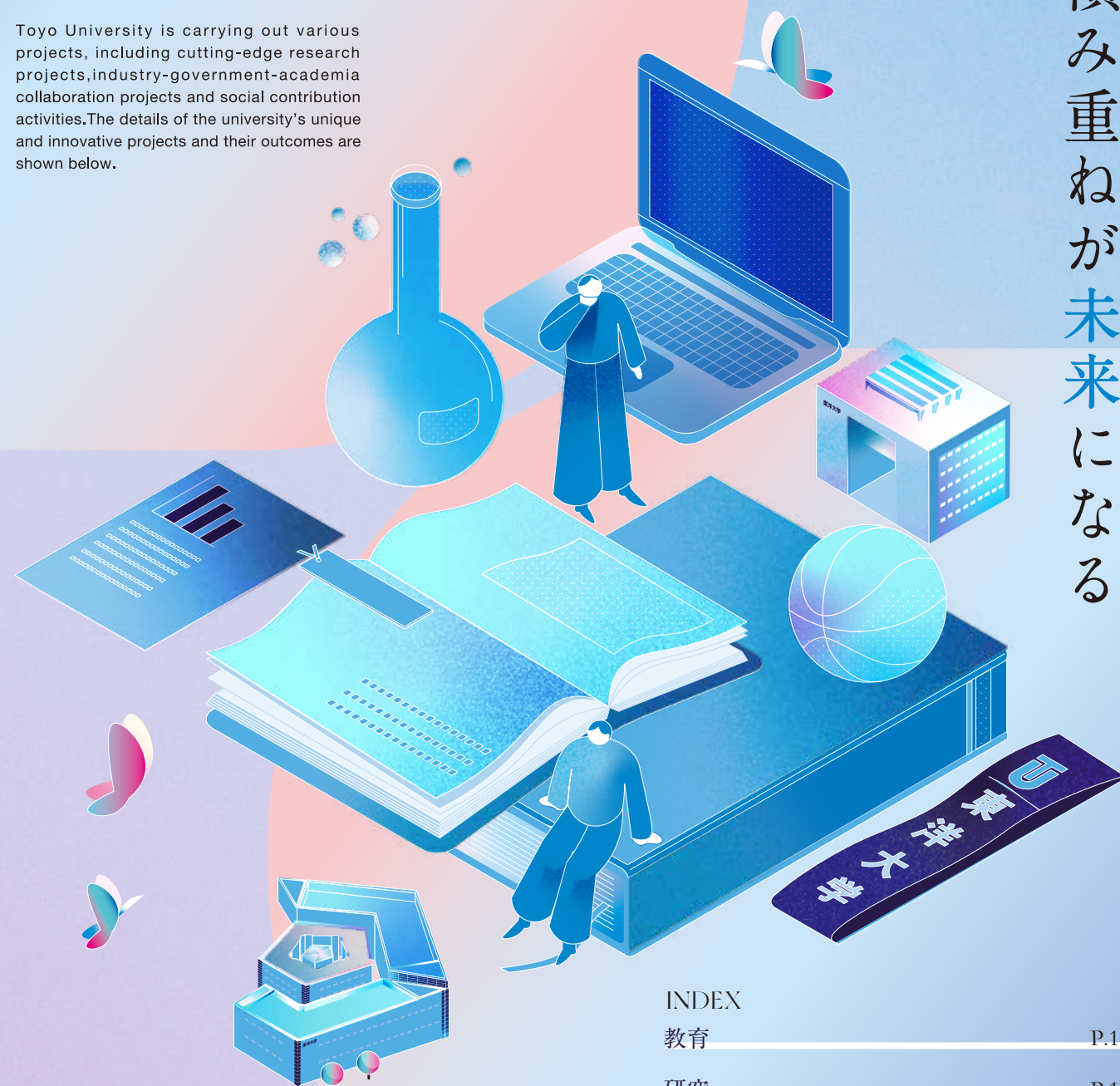


事業報告

TOYO NOW

東洋大学では、最先端の研究や産官学連携・社会貢献活動など、さまざまな事業を行っています。大学や社会の革新につながる、独創的で先進的な取り組みの詳細や成果をご紹介します。

Toyo University is carrying out various projects, including cutting-edge research projects, industry-government-academia collaboration projects and social contribution activities. The details of the university's unique and innovative projects and their outcomes are shown below.



現在の積み重ねが未来になる

INDEX

教育	P.15
研究	P.17
社会連携	P.18
スポーツ	P.19
附属学校・幼稚園	P.21

自己の哲学を持ち、 未来を切り拓く力を備えた人材を育成

14学部49学科・専攻を有する総合大学である東洋大学は、教育理念である「諸学の基礎は哲学にあり」を原点に、変化の激しい時代の中で「哲学」によるものの見方・考え方を育てる教育を行ってきました。専門的かつ横断的に学べる環境を整え、物事の本質を理解し未来を切り拓く力を持った人材の養成を目指します。

Helping students develop the ability to cultivate the future on their own with a philosophical mindset

As a general university with 14 faculties and 49 departments, Toyo University provides education that helps students develop a philosophical mindset and attitude that remain constant in this era of rapid change, under its educational principle, "The basis of all learning lies in philosophy." By enhancing its specialized and interdisciplinary learning environment, the university aims to enable students to develop an understanding of the essence of things and cultivate their own future.

詳細はこちら



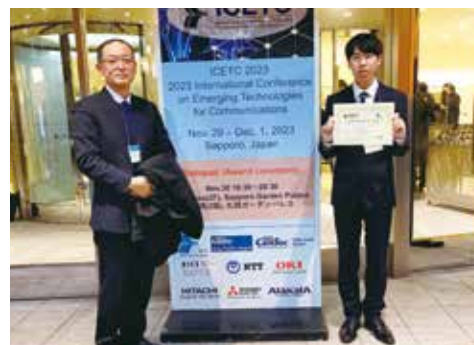
<https://www.toyo.ac.jp/toyo2024/education/>

02

教育

学生・教員の研究成果が高い評価を獲得 社会の発展に貢献する

東洋大学の学生・教員は、学会で賞を授与されるなど、学外から高い評価を得ています。理工学研究科・電気電子情報専攻博士前期課程の樺澤一真さんは、電子情報通信学会通信ソサイエティ部門の国際会議・ICETC2023においてポスター発表を行い、Student Presentation Award (Poster)を受賞しました。また、情報連携学部の坂村健教授が率いるプロジェクトチームが開発した「TRONリアルタイムOSファミリー」は、IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)からIEEEマイルストーンとして認定を取得。社会や産業の発展に大きく貢献したことが評価されました。



樺澤一真さん(右)／研究指導をした責任者の草間裕介准教授(左)

学内英会話講座無償化や多様な奨学金制度を用意 多文化共生グローバル人材を育成

世界に目を向け、見聞を広げ実践した“旅する哲学者”である創立者井上円了の姿勢を継承し、東洋大学は世界で学び、世界に学ぶための支援が充実しています。2024年4月からは英語力向上の一助として、株式会社ECCと連携した学内英会話講座を無償で開講。また、留学希望の学生を支援するため、最大300万円を支給する多様な奨学金制度を用意しています。さらに、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に採択された「ビジネス日本語教育を通じた高度日本語人材と多文化共生グローバル人材の育成プログラム」を展開しています。今後も国際的な課題解決に貢献できる学生、多文化共生グローバル人材の育成に取り組みます。



マンツーマンレッスンを含む多彩な講座で語学力向上を目指す

大学院博士後期課程の学生を支援し イノベーションの未来を担う多様な人材を育成

東洋大学は国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「次世代研究者挑戦的研究プログラム」(SPRING)に採択されており、次世代の研究者養成に注力しています。このプログラムは、博士後期課程の学生が研究に専念できる環境を整備し、日本の科学技術の発展に寄与する卓越した博士人材の輩出を目指す事業です。選抜された博士後期課程学生に対する生活費相当額および研究費の支給や、キャリア開発・育成コンテンツの提供を始めとする多様な支援を行います。本学では2021年から2023年の3年間で、15名の博士後期課程の学生を採用し支援を行ってきました。また、新たに同プログラムの2024年度新規プロジェクトにも採択され、さらなる博士人材の多様なキャリアパスの整備を行います。引き続き日本の科学技術・イノベーションに貢献できる人材の育成を行っていきます。



2023年の3・4期生採用式・研究報告会では矢口学長からエールが送られた

産学協同プロジェクトを通して 大学での学びを社会で実践

授業などで身につけた知識を実践的にアウトプットする場として、地域や企業と連携した産学協同プロジェクトを実施しています。2023年度、経営学部の蜂巢ゼミと食環境科学部の露久保研究室が栃木県大田原市の小学校3校の閉校・統合にあたり、大田原市役所と連携したイベント「想い出給食」を実施。資金や食材の調達、パンフレットやWEBサイトの制作から当日のイベント運営などに携わりました。また、人間環境デザイン学科の学生が手がけた伊勢丹新宿店のショーウィンドウディスプレイの装飾や、お雑煮専門店「銀座もちふじ」のロゴデザイン制作など、クリエイティブな活動も広がっています。



「新春」をテーマにした伊勢丹新宿店ショーウィンドウディスプレイ



湯津上小学校、佐良土小学校、蛭田小学校(大田原市)3校の児童と交流

「主活力」を身に着けるキャリア支援と就職支援により 希望するキャリアパスを実現

東洋大学では、学生自身が主体的に行動できる力「主活力」の向上を軸に、キャリア支援・就職支援を行っています。全学部の1年生を対象として、デジタル技術やビジネススキルを学び、DX人材を目指すオンライン講座「東洋大学キャリア・オナーズプログラム」を実施。本プログラムを受講後、自ら起業をする学生も出てきています。また、人気企業や各業界のリーディングカンパニーへの就職を目指して、早期より対策を始める「UP講座」など、様々な施策を展開。時代の変化に柔軟に対応しうる知性や徳性を備え、キャリア実現のために学生が“自走”できる力を身に付けられるよう、サポートを続けていきます。



就職・キャリア支援課に設置されているWeb面接用の個室ブース

教員同士で優れた取り組みを共有 知見を深め教育の質向上を目指す

学生により良い教育を提供するため、優れた教育活動を企画、実施した教員に対して、「東洋大学優秀教育活動賞」を毎年授与しています。また、「学長フォーラム」では、各学部・研究科の教育の質向上を目的としたさまざまなテーマを設定し、ディスカッションを実施。2023年度は「150周年を見据えた東洋大学の未来」と題して新たな中期計画(2024～2028年度)の方針を示し、さらに発展させるための議論を行いました。その他、数理・データサイエンス・AIに関する授業を全学生が学ぶ体制の整備や、学生自身が獲得した学修成果を把握できるシステムの開発など、学生の一人ひとりの成長を保证するための教育の質向上を目指した取り組みを進めています。



2023年度は12組・24名に「東洋大学優秀教育活動賞」が授与された

文理の垣根を超えた先端研究を推進し、 社会の課題解決や未来社会の実現に貢献

東洋大学では、総合大学の特性を活かし従来の学問分野の枠にとらわれない文理融合型の研究プロジェクトを推進し、持続可能な社会を切り拓くための多様な研究を行っています。
それらの研究成果を社会に還元し、より良い未来社会の実現に役立てています。

Promoting cutting-edge research across the boundary between the humanities/social sciences and natural sciences to contribute to resolving social issues and creating a brighter future

Leveraging its strengths as a general university, Toyo University is promoting a variety of interdisciplinary research projects integrating the humanities/social sciences and natural sciences to realize a sustainable society. The research achievements are shared with society to contribute to creating a better society for the future.

先端的かつ独創的な研究を重点的に助成し 世界水準の大学へと発展

超スマート社会の到来に向け、先端的な研究を促進するために2018年に創設された「東洋大学重点研究促進プログラム」。本学の研究ブランド力向上に資するプロジェクトを支援しています。「バイオミメティクス活用による高機能かつ持続可能なものづくり」では、生物の持つ優れた構造や機能などを持続可能なものづくりに活かす研究が進んでいます。「東洋大学のブランド力向上のための分野横断型アスリートサポート研究」では、アスリートがパフォーマンスを最大限に発揮するための生理学的な研究に加え、メンタル面やキャリア支援など幅広いサポートの実現を目指し研究しています。



2024年度は11の研究プロジェクトが進行中



特殊詐欺推定AIモデルのイメージ

AIツールで詐欺被害を防ぐ 産官学連携でより良い社会を実現

東洋大学は積極的に産官学連携を行い、社会に研究成果を還元しています。その一つが、社会学部社会心理学科の桐生教授らが富士通株式会社・兵庫県尼崎市と連携した、特殊詐欺防止に関連した共同研究です。「特殊詐欺推定AIモデル」は、非接触センサーを通じて被害者が騙された状態であることを推定し、アラート通知などで詐欺被害を未然に防止。また、詐欺の手口を再現する「訓練AIツール」は、高齢者に疑似体験を提供することで防犯意識の向上を促し、安心安全な生活を送れる環境づくりに貢献します。その他、国や民間企業などと連携し、数多くの共同研究や受託研究を行っています。



ハンドクリーム商品化のためクラウドファンディングを実施



花酵母独特の香味を持った辛口の味わい

酒造会社や化粧品会社と連携し 新しい製品を商品化

産学連携プロジェクトから、製品開発へと発展している事例もあります。理工学部の中井准教授は、有限会社佐藤酒造店と連携し、川越キャンパスに自生する草花を活用した新しい日本酒を開発。2024年3月から、ヤマユリと梅の花酵母を使用した2種類の日本酒を開発・製品化しました。生命科学部三浦研究室を中心とした学生団体「TOYO SDGs Students Project ～SUGOMORI BOISEN Project～」は、WIPO GREENのデータベースに掲載された資生堂特許ライセンスを活用し、株式会社シーエスラボと連携してバイセクシーを用いたハンドクリームを開発。環境に優しい製造工程やパッケージにもこだわり、クラウドファンディングを通じて商品化を実現しました。

教育・研究の成果を社会へ広く発信し、 地域に“開かれた大学”へ

創立直後より「余資なく優暇なき者」のための社会教育に取り組み、地域社会の発展や生涯学習に貢献してきた東洋大学。
これからも最先端の教育・研究を社会に還元し、新たな価値創造に向けてさまざまな活動を展開します。

Becoming a university open to the community by sharing the educational and research achievements widely with society

Since its foundation, Toyo University has continued to provide social education to “people without financial resources or time to study,” thus contributing to the development of the local community while offering life-long learning opportunities. The university will remain committed to sharing its latest educational and research achievements with society and implementing various initiatives to create new values.

学生によるボランティア活動を通じて 支援と同時に社会貢献の精神を養う

東洋大学ボランティア支援室では、人的・知的資源を必要としている地域社会・国際社会に支援を届けるべく、学生によるボランティア活動を推進しています。活動に参加するために必要な知識や技能をレクチャーする講座も実施。2024年1月に発生した能登半島地震では、被災地である石川県志賀町で教員や学生がボランティア活動に継続的に参画しています。がれき撤去や災害ごみの運搬など人手が不足する被災地での活動では、メディア情報だけではわからない現場の実情を知り、ボランティア活動の重要性を学ぶ貴重な機会となりました。



蔵の掃除や瓦の撤去などを行いました



東洋フィロソフィアアカデミーでは、他者との交流や新しい知識の習得が可能

充実した一般向け講座を開講し 誰もが生涯を通して学べる機会を提供

創立者井上円了の遺志を継ぎ「開かれた大学」づくりを目指す東洋大学は、充実したリカレント教育を提供しています。哲学や経済などさまざまなテーマで公開講座を開講。2024年度からはアクティブラーニングやリスクリテラシーを重視した「東洋フィロソフィア アカデミー」も開始し、自らの可能性を拓く学びを提供しています。また、全国の学校や教育委員会などが主催する講演会に教員を無料で派遣する「全国講師派遣事業」を25年にわたり行っており、2023年度は全79講座を開催し4,085人が受講しました。

SDGs活動を活性化させるため 学生アンバサダーが普及啓発活動を実施

東洋大学ではSDGs活動の一層の活性化及び発展を図るべく、学生個人や学生団体に「SDGsアンバサダー」の称号を付与する制度を設けています。活動に必要な基礎知識や学内外の活動事例を学ぶスタートアップセミナーを経て、2023年度は91人の学生をアンバサダーとして認定。赤羽台チームメンバーは、SDG12「つくる責任 つかう責任」に着目し、株式会社ファーストリテイリングと連携してUNIQLO・GUの衣類回収を実施しました。生産と消費の視点からSDGsの普及啓発を行い、773人から回収した衣類210枚を難民に寄付しました。引き続き、地球社会の未来に貢献する活動を支援していきます。



SDGsアンバサダーの赤羽台チームが衣類回収を実施

スポーツを通じて大学が一体となり、人と社会と世界をつなぐ人材を育成

東洋大学では、アスリートの支援はもちろん、応援文化の醸成を促進し、スポーツを通じた人材の育成に注力しています。2024年は、パリオリンピック・パラリンピックも開催されます。世界平和につながることを願い、アスリートの支援や応援を続けていきます。

総合的なスポーツ振興に向けた取り組みが学外から高い評価を獲得

東洋大学は「TOYO SPORTS VISION」に基づき、2023年4月に「TOYO スポーツセンター」(以下TSC)を開設しました。TSCでは、アスリートの強化・サポート、および地域連携・社会貢献の展開の他、大学一体となる応援文化の醸成を図り、スポーツを通じた人材の育成を行っています。一般社団法人大学スポーツ協会(通称:UNIVAS)が主催する『UNIVAS AWARDS 2023-24』の「スポーツ統括部局/SA賞」において、TSCは最優秀賞(スポーツ庁長官賞)を受賞。これまでの大学スポーツ振興に向けた画期的・効果的取り組みや、計画遂行のための組織体制などが高く評価されました。



表彰式では矢口学長に表彰状が授与された



細野選手によるピッチング指導

野球教室や食育講座で地域の人々の健康に貢献

TOYOスポーツセンターでは、スポーツを通じた社会貢献・地域連携活動を実施しております。2023年度はラグビー部によるラグビー教室や硬式野球部による野球教室を開催しました。野球教室ではプロ野球ドラフト会議で指名を受けた細野晴希選手、石上泰輝選手、OBの佐々木俊輔選手も参加し、小学生とピッチング、バッティング、守備の練習を行いました。参加者からは「最高だった」「打つコツを教えてもらえて楽しかった」「野球がうまくなった気がする」などのコメントが寄せられました。また、食環境科学部の小西講師による食育講座「成長期における食事と栄養」も同時開講し、約40名の保護者が参加。「子どもの食事について学ぶ機会が少ないので、とても貴重な体験でした」と好評でした。

トップアスリートをサポートするラボが学内に誕生

2024年5月より、運動部強化部・準強化部・トップアスリート認定された部員に対して、メディカル・フィジカルサポートを行う「TOYO トップアスリートラボ」を開設しました。学生部員が試合や練習中に負傷等をした場合、病院での診断を経てから、また、部活動中に身体の異変や不調等が生じた場合は、ラボ内で高島平中央総合病院から派遣された理学療法士によるリコンディショニングが受けられます。これにより学生が最高のパフォーマンスを引き出せるようにアシストしています。病院での診断は実費負担※となりますが、「TOYO トップアスリートラボ」でのリコンディショニングにかかわる費用は無料です。

※ 学生部員は「スポーツ安全保険」に加入しており、保険の適用によって費用が軽減されます。



Developing the ability to build connections with people, society and the world by creating a sense of unity across the entire university through sports events

To develop human resources through sports, Toyo University supports student-athletes, while gathering students together to cheer for these athletes at sports events. With the 2024 Paris Olympics and Paralympics Games around the corner, the university continues supporting and cheering for its athletes, believing in the power of sports to contribute to world peace.

詳細はこちら



<https://www.toyo.ac.jp/toyo2024/sports/>

TOYO UNIVERSITY SPORTS NEWS

1 第100回箱根駅伝で総合4位を獲得 チーム一丸となって「鉄紺の再建」を実現

2024年1月に行われた第100回箱根駅伝において、東洋大学陸上競技部は総合4位に入賞しました。往路では梅崎蓮選手と小林亮太選手の好走により序盤から良い流れを作り、さらに松山和希選手が雨の中順位を引き上げたことが好成績につながりました。復路は安定した走りで順位をキープしつつ吉田周選手が区間2位、岸本遼太郎選手が区間賞の走りで猛追しました。目標である3位以内まであと21秒に迫る、10時間52分47秒という成績を収め、今季のスローガン「鉄紺の再建」への第一歩を示した第100回大会となりました。



2 アイススケート部ホッケー部門が関東大学リーグ準優勝、日本学生氷上競技選手権大会で優勝の快挙

1961年の創部以来数々の好成績を残してきたアイススケート部ホッケー部門。2023年11月に行われた関東大学アイスホッケー秋季リーグ戦ファイナルリーグでは、全勝したものの惜しくも準優勝となりました。その後12月に行われた第96回日本学生氷上競技選手権大会では、2年ぶりに優勝。関東大学アイスホッケーリーグで得失点差で敗れた明治大学に5対1で勝利し、雪辱を果たしました。大会ベスト6や得点王、アシスト王に多数の学生が選出され、最優秀選手には中島照人選手が選ばれました。



3 東洋大学ボクシング部史上初、5名が優勝 合計で9つのメダルを獲得

2023年8月に開催された第77回全日本大学王座決定戦で同志社大学に11対0で完勝し、2年連続で3回目の日本一となりました。また、2023年11月に行われた全日本ボクシング選手権大会で、東洋大学ボクシング部史上初の5名の選手が各階級で優勝しました。優勝5名、準優勝2名、3位2名で東洋大学として合計9つのメダルを獲得しました。女子ミニムム級で優勝した加藤光選手は技能賞、男子ウェルター級で優勝した田中空選手は敢闘賞にも選出されました。



幼中高大が連携した教育により 未来を担う若者を育成

東洋大学では、3つの附属中学校・高等学校と1つの附属幼稚園を設置しています。
大学と附属校園が連携し、総合学園としてのメリットを最大限に生かした教育活動を展開します。

Nurturing future leaders in cooperation with the affiliated kindergarten and junior and senior high schools

Toyo University is carrying out distinctive educational activities, fully leveraging its advantage as a general educational institution affiliated with three junior and senior high schools and one kindergarten.

詳細はこちら



https://www.toyo.ac.jp/toyo2024/attached_school/

東洋大学附属京北幼稚園

本園は、1905(明治38)年に、東洋大学の創立者である井上円了博士が、生涯教育の中でも特に人格の基礎を形成する幼稚園教育の重要性を説き、創設されました。以来、本駒込の地で119年にわたり教育活動を重ね、3,000名超の子どもたちが巣立っています。2024年度より本園の名称を「東洋大学附属京北幼稚園」と変更いたしました。東洋大学では、保育者を養成する学科をはじめ、幼児教育に関わる領域の研究が進んでおります。大学附属の幼稚園として、そうした研究成果や教育資源を積極的に活用し、魅力ある幼児教育の環境づくりを推進していけるようにとの思いを込めた名称変更となります。また、新たに策定した教育方針「5つの柱」-「1. お互いを大切に、健やかに生きる力を育む」「2. 遊びを通して、主体的に学ぶ力を育む」「3. よく考え、自ら行動する力を育む」「4. 豊かな環境の中で創造性や発想力を育む」「5. 多様性に出会い、共に生きる力を育む」を基本に、東洋大学との連携を含むさまざまな活動を通して、人間形成の基礎をつくる大切な時期にあるお子様の多様な力を育ててまいります。



東洋大学附属姫路中学校・高等学校

東洋大学の建学の精神「諸学の基礎は哲学にあり」を継承し、考える力の育成と校訓「自立・友情・英知」を基礎に据えた教育を行っています。その中心となるのが、「哲学」、「グローバル」、「探究」の3つの柱からなる「キャリア・フロンティア」で、「確かな学力」と「豊かな人間力」を育成しています。また、物事の本質を追求するための「考える力」、国際社会で求められる「自分の意見をはっきりと持ち、発信できる力」、社会人に必要な自立心を培い「自らの進路を自分で考え、選択できる力」を養い、未来を担うグローバル人材の輩出を目指しています。附属姫路中学校は、姫路市内初の男女共学中高一貫校として2014年に開校しました。附属姫路高等学校は、2022年に制服やコース制をリニューアル、2023年に創立60周年を迎え、さらなる躍進に向けてさまざまな取り組みに挑戦しています。



TOPICS

地産地消やSDGsを意識した特産品などを通して地元の活性化に取り組む地域活性化「PROJECT TOYO」が夢前町の酒造「壺坂酒造」の協力を得て、自分たちが収穫に携わった農薬不使用米「プレミアムヒノヒカリ」と、姫路の地元米「辨慶(べんけい)」を原料に「日本酒発祥の地」とされる宍粟市の庭田神社から採取された「庭こうじ菌」を使用した甘酒を開発しました。商品ラベルも生徒が手掛け、販売体験も行いました。



商品が完成し取材を受ける様子

東洋大学附属牛久中学校・高等学校

2021年4月に文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール(SGH)ネットワーク参加校」に認定され、スーパーグローバル大学の附属校として、中高大連携によるグローバル人材育成教育を進めています。海外語学研修や国際交流活動、ディベートなどの多彩な教育内容により、確かな語学力を身に付け、多様性の理解を促進。さらに、「グローバル探究」(哲学・国際理解・教養・課題研究・キャリアから構成されるオリジナル教科)を通し、未来へ踏み出す力を育成します。高等学校には、生徒の個性に合わせた5つのコース(特別進学・グローバル・進学・スポーツサイエンス・中高一貫)を設置。志望する進路に応じた最適なカリキュラムのもと、基礎から応用まで幅広い学力の定着を目指します。附属中学校から内部進学した中高一貫コースの生徒は、教育課程を早期修了し、国公立大学や難関私立大学への進学に備えます。



TOPICS

2024年に創立60周年を迎えます。8月には第29回全国私立大学附属・併設中学校・高等学校教育研究集会(=附属校サミット)を行い、これまで本校で取り組んできた教育を全国の先生方に問いかけ、次世代に向けてのさらなる飛躍を目指します。更にグローバル教育は、ローカルな視点を加味したグローカル教育へ発展させます。また、アントレプレナーシップマインドの形成と探究学習における理数科教育の重点化を企図し、将来的には「スーパーサイエンスハイスクール(SSH)」の指定も目標にしています。



「トビタテ!留学JAPAN」の留学報告会

東洋大学京北中学高等学校

大学附属の男女共学・中高一貫教育校として、附属校のメリットを最大限に活かしながら国公立大学や難関私立大学への進学を目指します。「より良く生きる」をテーマとした哲学教育(生き方教育)、国際社会で活躍できる力を身に付ける国際教育、そして自己の人生を意欲的に創造するキャリア教育を3本の柱として実践しています。数学・理科・情報に対する生徒たちの興味・関心を高めることを目的とした「KSST(京北スーパーサイエンスチーム)」の活動も推進しています。東洋大学の生命科学部、食環境科学部、文学部(教育学科)との連携プログラムである「未来の科学者育成プロジェクト」への参加や、東京大学・千葉大学の研究室見学などを通じて、理科教育にも強い学校の実現を目指します。



TOPICS

ジュニア農芸化学会2024において、高校1年生の3名が学会発表を行いました。東洋大学との中高大連携プロジェクト「未来の科学者育成プロジェクト」を通じて、「微生物の大きさを利用した新規スクリーニング法の構築」というテーマで研究を実施。大学院生や教授、大手企業の方々に向けて研究成果の説明を行い、これまでの研究にさらなる可能性を感じさせるとともに貴重な時間を過ごしました。



ジュニア農芸化学会2024

基礎データBasic Data

■在籍学生数(2024年5月1日現在暫定数)

学部(第1部)			
学部	男性	女性	合計
文学部	1,679	1,911	3,590
経済学部	1,917	730	2,647
経営学部	1,831	1,088	2,919
法学部	1,367	767	2,134
社会学部	1,087	1,771	2,858
理工学部	2,737	561	3,298
国際地域学部	0	1	1
国際学部	734	980	1,714
国際観光学部 ^{※1}	492	1,038	1,530
生命科学部	694	398	1,092
ライフデザイン学部	391	742	1,133
総合情報学部	838	258	1,096
食環境科学部	353	620	973
情報連携学部	1,137	240	1,377
福祉社会デザイン学部	266	717	983
健康スポーツ科学部	342	350	692
合計	15,865	12,172	28,037

学部(第2部)			
学部	男性	女性	合計
文学部	302	206	508
経済学部	541	119	660
経営学部	348	139	487
法学部	357	150	507
社会学部	313	245	558
合計	1,861	859	2,720

通信教育課程			
	男性	女性	合計
合計	16	37	53

※1 2017年4月、国際地域学部を国際学部および国際観光学部に改組

■専任教員数(2024年5月1日現在)

白山キャンパス	学部	教授	准教授	講師 (契約制含む)	助教	小計	助手	合計
	文学部	60	20	4	7	91	0	91
	経済学部	40	18	6	4	68	0	68
	経営学部	32	28	6	2	68	0	68
	法学部	34	16	5	3	58	0	58
	社会学部	39	17	6	5	67	0	67
	国際学部	23	9	6	3	41	0	41
	国際観光学部	18	8	8	2	36	0	36
白山キャンパス合計		246	116	41	26	429	0	429

川越キャンパス	学部	教授	准教授	講師 (契約制含む)	助教	小計	助手	合計
	理工学部	48	23	2	5	78	0	78
	総合情報学部	18	9	0	4	31	0	31
	川越キャンパス合計	66	32	2	9	109	0	109

附属学校教員数

学校名	教諭	助教諭	講師	助手	合計
附属姫路中学校	17	0	0	0	17
附属姫路高等学校	75	0	0	0	75
附属牛久中学校	12	0	1	0	13
附属牛久高等学校	81	1	2	0	84

■事務職員数(2024年5月1日現在)

身分	職員数
参事	15
副参事	16
主事	65
主事補	86
書記	219
事務雇員	16
特任職員	6
専任職員等小計	423
常勤嘱託	89
特別嘱託	11
嘱託小計	100
合計	523

附属学校

学校名	参事	副参事	主事	主事補	書記	特任職員	常勤嘱託	特別嘱託	職員合計
附属姫路中学校・高等学校	0	0	0	1	3	0	9	0	13
附属牛久中学校・高等学校	0	0	1	1	2	0	2	0	6
東洋大学京北中学高等学校	0	0	1	2	2	0	3	1	9
合計	0	0	2	4	7	0	14	1	28

大学院			
研究科	男性	女性	合計
文学研究科	54	56	110
社会学研究科	28	40	68
法学研究科	10	13	23
経営学研究科	61	14	75
理工学研究科	203	50	253
経済学研究科	66	21	87
国際学研究科	29	40	69
国際観光学研究科	20	27	47
国際地域学研究科 ^{※2}	2	0	2
生命科学研究科	76	43	119
社会福祉学研究科	20	23	43
ライフデザイン学研究科	27	28	55
福祉社会デザイン研究科 ^{※3}	4	1	5
学際・融合科学研究科	0	1	1
総合情報学研究科	50	26	76
食環境学研究科	9	8	17
情報連携学研究科	20	4	24
健康スポーツ科学研究科	40	14	54
合計	719	409	1,128

※2 2018年4月、国際地域学研究科を国際学研究科および国際観光学研究科に改組

※3 2018年4月、福祉社会デザイン研究科を社会福祉学研究科および社会学研究科福祉社会システム専攻に改組

附属学校等			
学校名	男性	女性	合計
附属姫路高等学校	779	474	1,253
附属牛久高等学校	914	872	1,786
東洋大学京北高等学校	450	438	888
高等学校合計	2,143	1,784	3,927
附属姫路中学校	148	107	255
附属牛久中学校	89	107	196
東洋大学京北中学校	175	219	394
中学校合計	412	433	845
附属京北幼稚園	46	40	86

キャンパス別学生数

(学部第1部・第2部、大学院)

キャンパス	男性	女性	合計
白山キャンパス	11,120	9,167	20,287
川越キャンパス	3,531	812	4,343
朝霞キャンパス	1,381	1,100	2,481
赤羽台キャンパス	2,413	2,361	4,774
合計	18,445	13,440	31,885

入試データ(2024年度入試)Entrance Exam Data

共通テスト利用入試・一般入試・多面的評価入試・実技入試(第1部)

学部	学科(専攻)	志願者数	合格者数
文学部	哲学科	1,169	262
	東洋思想文化学科	1,276	293
	日本文学文化学科	2,264	563
	英米文学科	1,916	658
	史学科	2,653	862
	教育学科(人間発達専攻)	1,381	492
	教育学科(初等教育専攻)	981	308
	国際文化コミュニケーション学科	1,506	453
	文学部合計	13,146	3,891
経済学部	経済学科	5,942	1,557
	国際経済学科	3,749	1,023
	総合政策学科	3,729	1,003
経済学部合計		13,420	3,583
経営学部	経営学科	7,322	1,919
	マーケティング学科	3,709	872
	会計ファイナンス学科	2,373	808
経営学部合計		13,404	3,599
法学部	法律学科	4,875	1,505
	企業法学科	2,797	958
法学部合計		7,672	2,463
社会学部	社会学科	3,809	1,088
	国際社会学科	2,190	779
	メディアコミュニケーション学科	2,440	646
	社会心理学科	2,859	666
社会学部合計		11,298	3,179
国際学部	グローバルイノベーション学科	1,803	431
	国際地域学科(国際地域専攻)	2,531	937
国際学部合計		4,334	1,368
国際観光学部	国際観光学科	4,481	1,086
国際観光学部合計		4,481	1,086
情報連携学部	情報連携学科	3,914	1,361
情報連携学部合計		3,914	1,361
福祉社会デザイン学部	社会福祉学科	2,363	900
	子ども支援学科	786	234
	人間環境デザイン学科	1,232	478
福祉社会デザイン学部合計		4,381	1,612
健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	2,429	567
	栄養科学科	729	168
健康スポーツ科学部合計		3,158	735
理工学部	機械工学科	2,740	1,143
	電気電子情報工学科	2,429	832
	応用化学科	2,166	997
	都市環境デザイン学科	1,539	709
	建築学科	2,093	754
理工学部合計		10,967	4,435
総合情報学部	総合情報学科	2,394	743
総合情報学部合計		2,394	743
生命科学部	生命科学科	2,580	815
	生体医工学科	1,128	463
	生物資源学科	1,213	614
	生命科学部合計	4,921	1,892
食環境科学部	食環境科学科	910	453
	フードデータサイエンス学科	386	268
	健康栄養学科	792	221
食環境科学部合計		2,088	942
第1部合計		99,578	30,889

大学院 博士前期・修士課程

研究科	志願者数		合格者数	
	秋入学	4月入学	秋入学	4月入学
文学研究科		93		49
社会学研究科		141		31
法学研究科		23		9
経営学研究科	0	173	0	46
理工学研究科	4	128	4	119
経済学研究科	3	79	2	48
国際学研究科	25	24	21	15
国際観光学研究科	6	54	3	18
社会福祉学研究科		57		12
生命科学研究科	0	82	0	73
ライフデザイン学研究科		22		14
総合情報学研究科	2	36	1	32
食環境科学研究科	0	8	0	7
情報連携学研究科	1	18	1	10
健康スポーツ科学研究科		25		22
合計	41	963	32	505

共通テスト利用入試・一般入試(第2部・イブニングコース)・追試験

学部	学科(専攻)	志願者数	合格者数
文学部	東洋思想文化学科	172	86
	日本文学文化学科	172	103
	教育学科	199	99
	第2部文学部合計	543	288
経済学部	経済学科	716	389
第2部経済学部合計		716	389
経営学部	経営学科	579	254
第2部経営学部合計		579	254
法学部	法律学科	592	284
第2部法学部合計		592	284
社会学部	社会学科	540	318
第2部社会学部合計		540	318
国際学部	国際地域学科(地域総合専攻)	347	176
国際学部(イブニングコース)合計		347	176
第2部イブニングコース合計		3,317	1,709
追試験		15	0
総合計		102,910	32,598

推薦入試(AO型推薦/自己推薦/学校推薦/[独立自活]支援推薦)

学部		学科(専攻)	志願者数	合格者数
第1部	文学部	哲学科	60	26
		東洋思想文化学科	35	23
		日本文学文化学科	33	26
		英米文学科	13	12
		教育学科(人間発達専攻)	19	14
		教育学科(初等教育専攻)	24	10
	経済学部	国際文化コミュニケーション学科	33	10
		経済学科	6	2
		国際経済学科	15	14
		総合政策学科	53	21
第2部	イブニングコース	経営学科	0	0
		マーケティング学科	10	6
		会計ファイナンス学科	8	8
		法学部	59	37
	社会学部	企業法学科	22	18
		社会学科	59	11
	国際学部	国際社会学科	23	12
		グローバルイノベーション学科	37	16
		国際地域学科(国際地域専攻)	72	43
		国際観光学部	163	84
第2部イブニングコース	文学部	情報連携学部	12	9
		福祉社会デザイン学部	101	69
		子ども支援学科	68	29
		人間環境デザイン学科	40	31
	健康スポーツ科学部	健康スポーツ科学科	132	42
		栄養科学科	42	21
	理工学部	機械工学科	5	4
		応用化学科	2	2
	総合情報学部	都市環境デザイン学科	12	8
		建築学科	26	14
第2部イブニングコース	生命科学部	総合情報学科	41	21
		生命科学科	25	16
		生体医工学科	4	4
		生物資源学科	10	9
	食環境科学部	食環境科学科	16	11
		フードデータサイエンス学科	6	3
	第1部合計	健康栄養学科	62	11
		第1部合計	1,348	697
	文学部	東洋思想文化学科	12	9
		日本文学文化学科	13	10
		教育学科	11	10
		経済学部	50	32
第2部イブニングコース	経営学部	経営学科	28	23
		法学部	36	34
	社会学部	法律学科	49	33
		社会学科	24	18
	国際学部	国際地域学科(地域総合専攻)	223	169
		第2部イブニングコース合計	1,571	866

附属学校

学校名	志願者数	合格者数
附属姫路中学校	309	174
附属姫路高等学校	4,063	4,042
附属牛久中学校	243	209
附属牛久高等学校	1,660	1,621
東洋大学京北中学校	981	242
東洋大学京北高等学校	744	479
附属京北幼稚園	31	30



就職データ

Employment Data

就職率

98.5%

(2024年3月卒業生)

学内企業セミナー参加社数

594社

(2023年度)

学部別進路状況(学部第1部)

学部		就職率	就職者率	進学率	進路決定率
文学部	男	97.8%	79.5%	6.8%	86.4%
	女	97.8%	81.8%	5.9%	87.7%
	計	97.8%	80.8%	6.3%	87.1%
経済学部	男	98.5%	85.7%	3.6%	89.3%
	女	97.8%	82.9%	7.6%	90.5%
	計	98.3%	84.9%	4.7%	89.6%
経営学部	男	98.6%	87.2%	2.0%	89.2%
	女	98.9%	90.3%	0.5%	90.8%
	計	98.7%	88.2%	1.5%	89.7%
法学部	男	97.7%	83.8%	3.6%	87.4%
	女	98.2%	85.6%	5.7%	91.2%
	計	97.9%	84.5%	4.4%	88.9%
社会学部	男	97.6%	85.9%	4.1%	90.0%
	女	98.3%	86.4%	5.0%	91.3%
	計	98.0%	86.2%	4.6%	90.8%
国際学部	男	98.3%	81.9%	5.1%	87.0%
	女	98.8%	84.1%	5.3%	89.4%
	計	98.6%	83.2%	5.2%	88.4%
国際観光学部	男	100.0%	87.4%	6.3%	93.7%
	女	99.1%	90.6%	2.9%	93.4%
	計	99.3%	89.7%	3.8%	93.5%

学部		就職率	就職者率	進学率	進路決定率
ライフデザイン学部	男	99.5%	88.6%	4.1%	92.7%
	女	99.6%	91.6%	1.1%	92.6%
	計	99.6%	90.3%	2.4%	92.7%
理工学部	男	99.1%	72.5%	23.6%	96.1%
	女	100.0%	72.6%	25.2%	97.8%
	計	99.2%	72.5%	23.9%	96.4%
総合情報学部	男	97.2%	80.6%	8.6%	89.1%
	女	100.0%	81.8%	10.9%	92.7%
	計	97.9%	80.9%	9.1%	90.0%
生命科学部	男	98.4%	51.6%	32.8%	84.4%
	女	97.9%	69.7%	25.8%	95.5%
	計	98.2%	58.0%	30.3%	88.3%
食環境科学部	男	98.2%	82.4%	14.7%	97.1%
	女	100.0%	86.2%	6.5%	92.7%
	計	99.4%	84.8%	9.4%	94.2%
情報連携学部	男	97.6%	87.9%	3.9%	91.8%
	女	97.0%	90.3%	4.2%	94.4%
	計	97.5%	88.4%	4.0%	92.4%
合計	男	98.4%	81.5%	8.9%	90.5%
	女	98.7%	85.3%	6.2%	91.4%
	計	98.5%	83.2%	7.7%	90.9%

就職率=就職者数÷就職希望者数(就職者数+卒業時点で就職活動中の者)×100

就職者率=就職者数÷卒業者数×100

進学率=進学者数÷卒業者数×100

進路決定率=(就職者数+進学者数)÷卒業者数×100

※学部名については卒業生在籍時の名称を適用

主な就職先

【第1部文学部】

東京都教育委員会
千葉県教育委員会
埼玉県教育委員会
特別区
内閣府
株式会社JT
株式会社JB
全日本空輸株式会社
株式会社ニトリ
日本生命保険相互会社
山崎製パン株式会社

【第1部社会学部】

株式会社JT
サントリー株式会社
日本航空株式会社
日本放送協会(NHK)
東日本電信電話株式会社(NTT東日本)
東日本旅客鉄道株式会社(IR東日本)
株式会社バンダイナムコゲームス
国土交通省 東京航空局
さいたま市役所
特別区

【生命科学部】

埼玉県教育委員会
第一三共ケミカルファーマ株式会社
株式会社日立プラントサービス
ロート製薬株式会社
株式会社あらた
株式会社日本アクセス
日本ジェネリック株式会社
日本ハムマーケティング株式会社
日本全業工業株式会社
富士レボ株式会社

【情報連携学部】

株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
ソニー株式会社
チームラボ株式会社
株式会社日立製作所
株式会社野村総合研究所
キャノン株式会社
株式会社カブコン
海上保安庁
日本アイ・ビー・エム株式会社
全日本空輸株式会社

【第1部経済学部】

株式会社みずほフィナンシャルグループ
アクセンチュア株式会社
株式会社JT
株式会社ニトリ
第一生命保険株式会社
東日本旅客鉄道株式会社(IR東日本)
株式会社伊藤園
厚生労働省
国土交通省
埼玉県庁

【第1部国際学部】

ANAエアポートサービス株式会社
株式会社星野リゾート
全日本空輸株式会社
日本航空株式会社
日本電気株式会社(NEC)
キャノン株式会社
東日本電信電話株式会社(NTT東日本)
株式会社三井住友銀行
株式会社ファーストリテイリング
株式会社セブン-イレブン・ジャパン

【ライフデザイン学部】

特別区
埼玉県教育委員会
さいたま市役所
株式会社ベネッセスタイルケア
アシックス商事株式会社
東京消防庁
社会福祉法人睦月会
積水ハウス株式会社
株式会社メンバーズ
アイリスオーヤマ株式会社

【第1部経営学部】

ANAエアポートサービス株式会社
バナソニック株式会社
TOPPANホールディングス株式会社
明治安田生命保険相互会社
株式会社横浜銀行
アクセンチュア株式会社
株式会社キーエンス
東京国税局
東京都庁
埼玉県庁

【第1部国際観光学部】

株式会社JT
日本航空株式会社
全日本空輸株式会社
株式会社星野リゾート
株式会社オリエンタルランド
TOPPANホールディングス株式会社
ANAエアポートサービス株式会社
株式会社ミリアルリゾートホテルズ
ソニーミュージックグループ
株式会社エイチ・アイ・エス

【総合情報学部】

富士通株式会社
アクセンチュア株式会社
SCSK株式会社
トヨタ自動車株式会社
株式会社リクルート
株式会社東北新社
株式会社日立製作所
東京ガス株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
千葉県庁

【第1部全学部】

株式会社JT
大和ハウス工業株式会社
TOPPANホールディングス株式会社
サントリー株式会社
ソニー株式会社
東京都教育委員会
埼玉県教育委員会
埼玉県庁
東京都庁
特別区

【第1部法学部】

特別区
東京都庁
株式会社伊藤園
TOPPANホールディングス株式会社
経済産業省
厚生労働省
東京地方検察庁
東京地方裁判所
株式会社キーエンス
東京海上日動火災保険株式会社

【理工学部】

大和ハウス工業株式会社
東京都庁
株式会社SUBARU
株式会社大林組
東京エレクトロン株式会社
株式会社NTTドコモ
森永乳業株式会社
中外製薬工業株式会社
東京電力ホールディングス株式会社
東日本旅客鉄道株式会社(IR東日本)

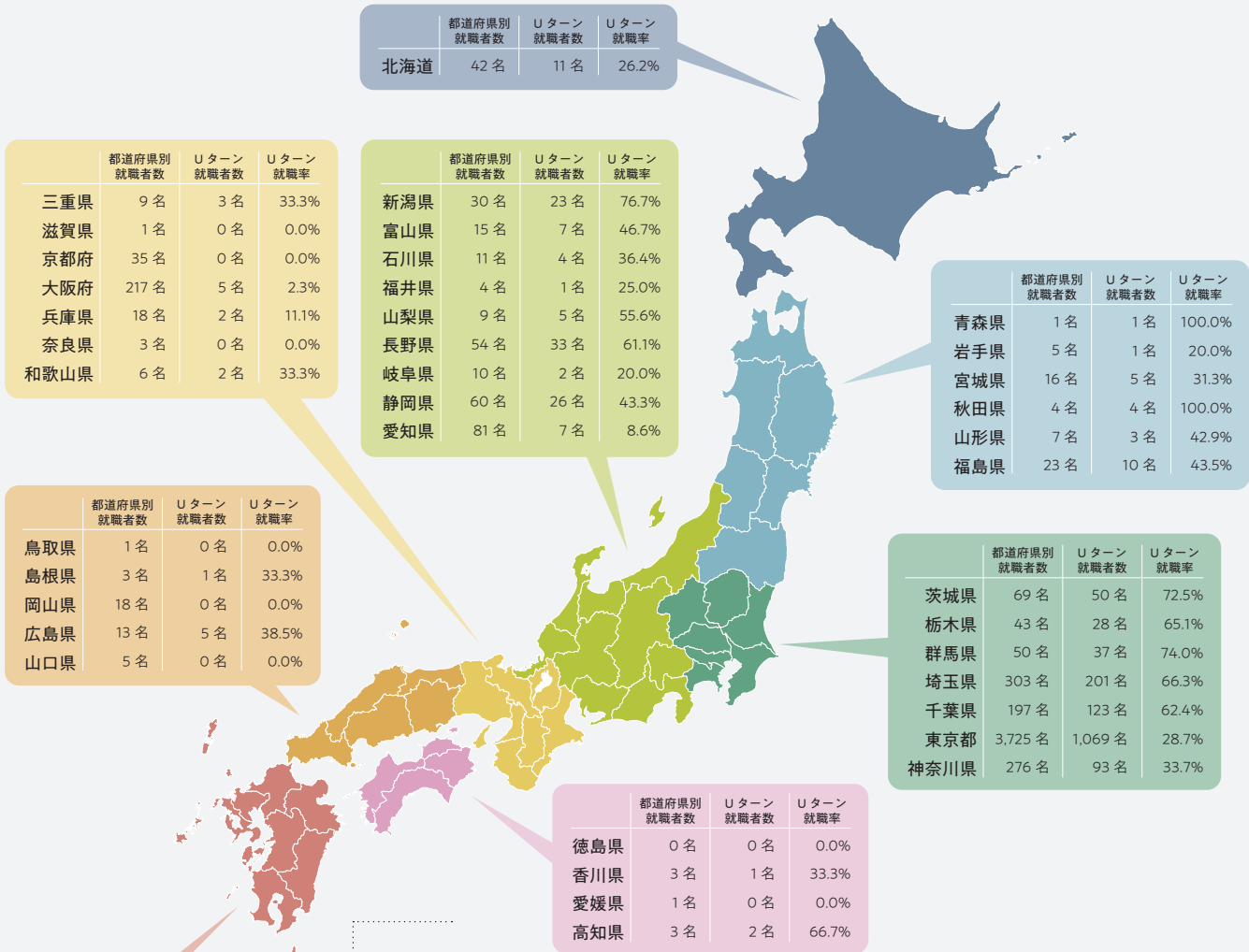
【食環境科学部】

株式会社LEOC
さいたま市教育委員会
埼玉県教育委員会
IMSグループ(板橋中央総合病院グループ)
株式会社ブルボン
埼玉県庁
赤城乳業株式会社
長谷川畜産株式会社
日本食研ホールディングス株式会社
日本赤十字社 足利赤十字病院

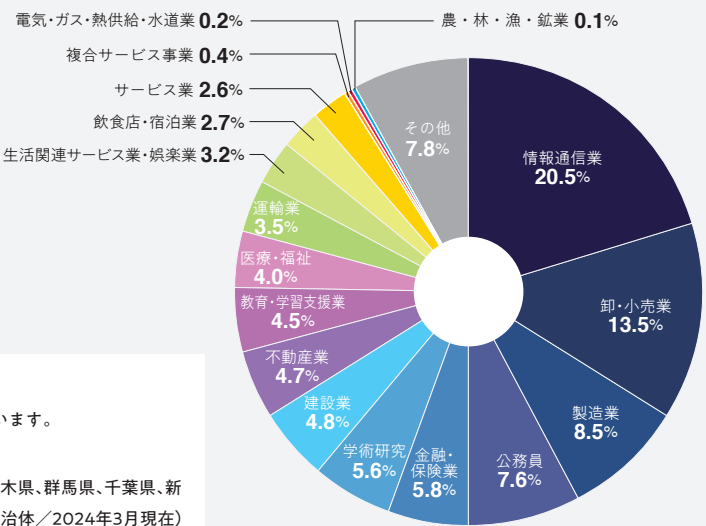
【第2部全学部】

東日本旅客鉄道株式会社(IR東日本)
東日本電信電話株式会社(NTT東日本)
アクセンチュア株式会社
株式会社JT
株式会社セブン-イレブン・ジャパン
会計検査院
警視庁
埼玉県庁
東京都教育委員会
埼玉県教育委員会

都道府県別／Uターン就職状況



業種別就職状況(学部第1部)



21自治体と就職支援協定を締結

以下の自治体と、学生のU・Iターン就職を促進するための協定を締結しています。

(地方就職促進事業加盟を含む)

北海道、札幌市、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、新潟県、富山県、石川県、山梨県、長野県、静岡県、大阪府、兵庫県、福岡県(21自治体／2024年3月現在)



図書館データ／学位授与状況／教職データ

Library Data / Degree Conferral Status / Application Status for a Teaching Licence

■ 図書館データ

図書所蔵数(2024年3月31日現在)

	和書	洋書	合計
白山図書館	744,213	217,877	962,090
川越図書館	148,464	58,751	207,215
板倉図書館	73,815	10,601	84,416
赤羽台図書館	257,460	25,216	282,676

雑誌所蔵タイトル数(2024年3月31日現在)

	和雑誌	洋雑誌	合計
白山図書館	7,050	3,280	10,330
川越図書館	1,025	1,331	2,356
板倉図書館	321	184	505
赤羽台図書館	1,626	467	2,093

入館者数(2023年度開館日)

	開館日数	延べ入館者数
白山図書館	292	408,756
川越図書館	275	113,705
板倉図書館	273	53,152
赤羽台図書館	269	62,977

■ 学位授与状況 (2023年4月1日～2024年3月31日授与)

	9月修了		3月修了		博士 (論文)
	修士	博士 (課程)	修士	博士 (課程)	
文学研究科	0	0	25	1	2
社会学研究科	0	0	16	1	0
法学研究科	1	0	0	0	0
経営学研究科	0	0	37	0	0
理工学研究科	5	1	100	1	0
経済学研究科	10	0	17	0	0
国際学研究科	15	3	6	1	0
国際観光学研究科	2	0	10	0	0
国際地域学研究科		0		0	0

	9月修了		3月修了		博士 (論文)
	修士	博士 (課程)	修士	博士 (課程)	
生命科学研究科	1	1	28	1	0
社会福祉学研究科	0	0	5	0	0
ライフデザイン学研究科	2	0	9	1	0
福祉社会デザイン研究科		0		1	0
学際・融合科学研究科	1	0	3	0	0
総合情報学研究科	4	0	15	1	0
食環境科学研究科	0	0	4	0	0
情報連携学研究科	0		11	0	
合計	41	5	286	8	2

■ 教育職員免許状申請状況 (2024年3月1日現在)

白山キャンパス

	学部	申請者数	小1種	中1種			高1種										特支1種	教科計
				国語	社会	英語	国語	書道	地歴	公民	商業	英語	福祉	情報				
第1部	文学部	173	43	19	78	23	23	1	79	63	0	24	0	0	21		374	
	経済学部	12	0	0	9	0	0	0	11	10	0	0	0	0	0		30	
	経営学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
	法学部	10	0	0	7	0	0	0	8	9	0	0	0	0	0		24	
	社会学部	8	0	0	8	0	0	0	6	7	0	0	0	0	0		21	
	科目等履修生	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0		2	
	第1部合計	204	43	20	102	23	24	1	104	89	0	24	0	0	21		451	
第2部	文学部	14	0	5	7	0	6	2	8	5	0	0	0	0	0		33	
	経済学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
	経営学部	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0		1	
	法学部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
	社会学部	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0		2	
	科目等履修生	2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0		3	
	第2部合計	19	0	6	7	0	7	2	9	7	1	0	0	0	0		39	
白山キャンパス 合計		223	43	26	109	23	31	3	113	96	1	24	0	0	21		490	

赤羽台キャンパス

学部	申請者数	幼1種	養1種	中1種			高1種				教科計
				保健	保健体育	保健	保健体育	工業	工芸	福祉	
ライフデザイン学部	128	76	14	5	38	6	39	2	1	0	181
赤羽台キャンパス 合計	128	76	14	5	38	6	39	2	1	0	181

川越キャンパス

学部	申請者数	中1種		高1種				教科計
		数学	理科	数学	理科	情報	工業	
理工学部	42	16	25	17	26	0	1	85
総合情報学部	1	0	0	0	0	1	0	1
川越キャンパス 合計	43	16	25	17	26	1	1	86

専修免許状

研究科	申請者数	小専修	中専修							高専修							特支専修	教科計
			国語	社会	英語	数学	理科	宗教	国語	地歴	公民	英語	数学	理科	宗教	工業		
文学研究科	6	1	0	5	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	0	0	0	14
経済学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経営学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国際地域学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工学研究科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理工学研究科	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	8
生命科学研究科	9	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	18
専修免許状 合計	19	1	0	5	0	0	13	0	0	5	3	0	0	13	0	0	0	40

教育職員免許状
申請者数 合計

454名



国際交流データ International Exchange Data

■ 留学生数・留学者数

派遣留学者数 (中途帰国者を含む)

プログラム名	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2033年度
交換留学(派遣)	161	12	70	145	148
認定留学	18	4	2		
協定校語学留学	179	36	0	108	103
語学セミナー*	180	57	153	155	179
合計	538	109	225	408	430

※国際教育センター主催のプログラムのみを対象

※2020・2021年度は新型コロナウイルスの影響によりオンラインで実施

※2022年度は実渡航とオンラインの両参加人数を含む

受入留学者数

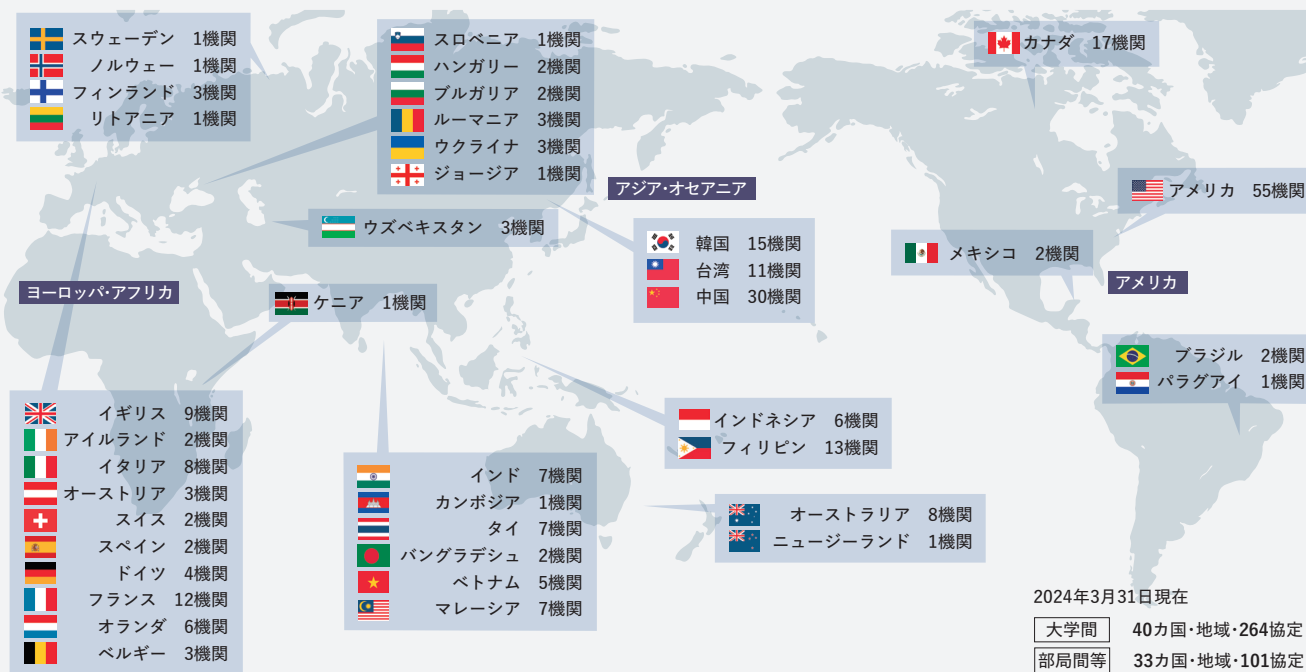
プログラム名	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
交換留学(受入)	194	4	44	236(33)	337(43)

※()内は部局間留学。内数。

国際留学生受入数(延べ人数)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
大学院	24	15	11	9	13

■ 大学間海外協定先等一覧 (2024年3月31日現在)



2024年3月31日現在

大学間 40カ国・地域・264協定

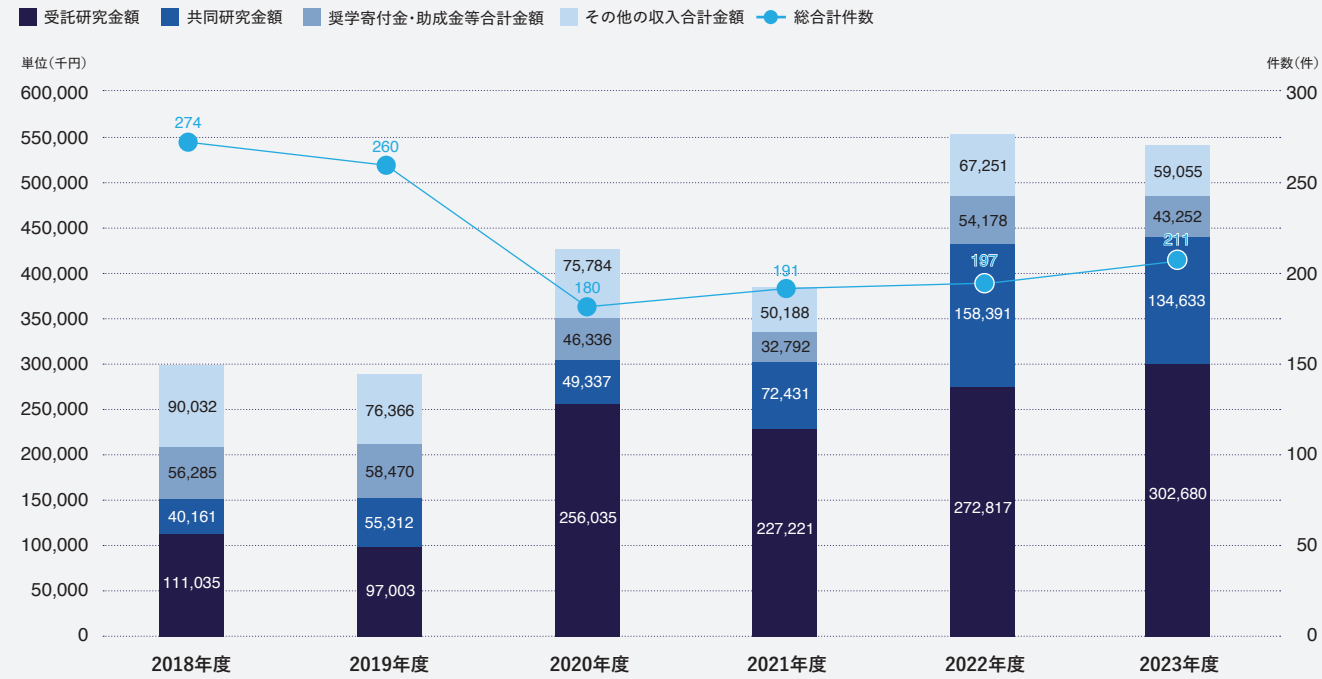
部局間等 33カ国・地域・101協定

■ 出身国別留学者数 (2024年5月1日現在)

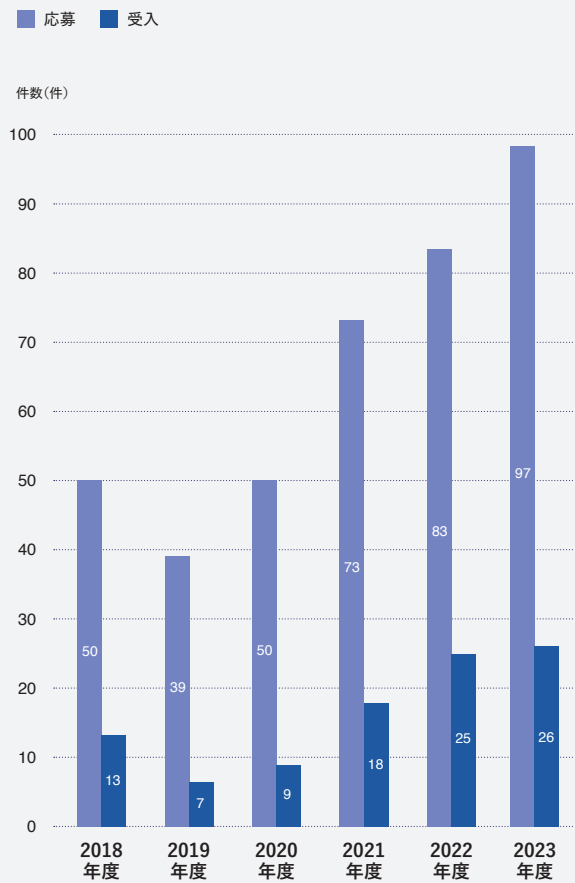
アメリカ	アルメニア共和国	イタリア	インド	インドネシア	ウズベキスタン	エジプト	カタール
学部合計2 大学院合計2 総合計3	学部合計1 総合計1	学部合計1 総合計1	学部合計1 大学院合計1 総合計2	学部合計8 大学院合計6 総合計14	学部合計4 大学院合計1 総合計5	大学院合計1 総合計1	学部合計1 総合計1
カナダ	韓国(・朝鮮)	カンボジア	キルギス	ケニア共和国	コートジボワール共和国	コンゴ民主共和国	米国領サモア
学部合計2 大学院合計2 総合計3	学部合計105 大学院合計3 総合計108	大学院合計6 総合計6	学部合計3 総合計3	大学院合計5 総合計5	学部合計1 総合計1	学部合計1 総合計1	大学院合計1 総合計1
ジャマイカ	スーダン	スペイン	スリランカ	ソマリア	タイ	台湾	タジキスタン
大学院合計1 総合計1	大学院合計1 総合計1	学部合計1 総合計1	大学院合計2 総合計2	大学院合計1 総合計1	学部合計3 大学院合計1 総合計4	学部合計14 大学院合計2 総合計16	学部合計1 総合計1
タンザニア	中国	トルコ	トンガ王国	ナイジェリア	ニュージーランド	バヌアツ共和国	バプアニューギニア
大学院合計3 総合計3	学部合計984 大学院合計247 総合計1231	学部合計1 総合計1	学部合計2 総合計2	大学院合計1 総合計1	学部合計3 総合計3	大学院合計1 総合計1	大学院合計2 総合計2
バングラデシュ	フィジー	フィリピン	ブラジル	フランス	ブルガリア	ベトナム	ポーランド共和国
大学院合計1 総合計1	学部合計1 大学院合計1 総合計2	学部合計3 総合計3	大学院合計1 総合計1	学部合計4 総合計4	学部合計4 総合計4	学部合計28 大学院合計2 総合計30	学部合計1 総合計1
ポルトガル	マダガスカル共和国	マラウイ共和国	マレーシア	南アフリカ	南スーダン	ミャンマー	モザンビーク
学部合計1 総合計1	学部合計1 大学院合計1 総合計2	大学院合計2 総合計2	学部合計45 大学院合計46	学部合計1 大学院合計1 総合計2	大学院合計1 総合計1	学部合計15 大学院合計1 総合計16	学部合計1 総合計1
モンゴル	ルワンダ	ロシア					
学部合計10 大学院合計1 総合計11	大学院合計3 総合計3	学部合計1 大学院合計2 総合計2					
学部(第1部)合計1,255名 大学院合計305名 総計1,560名							



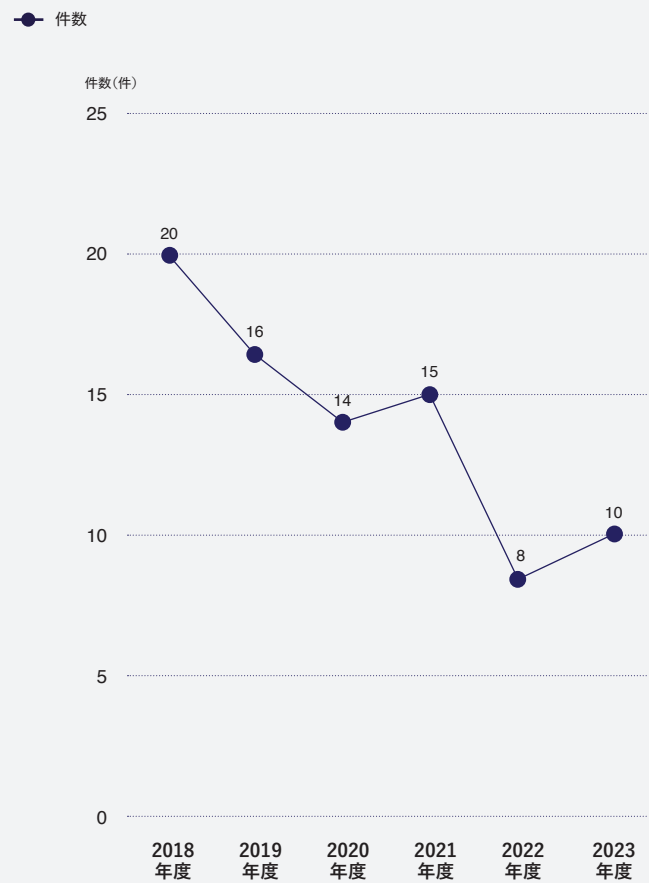
■ 受託研究・共同研究・奨学寄付金・助成金その他の収入総合計



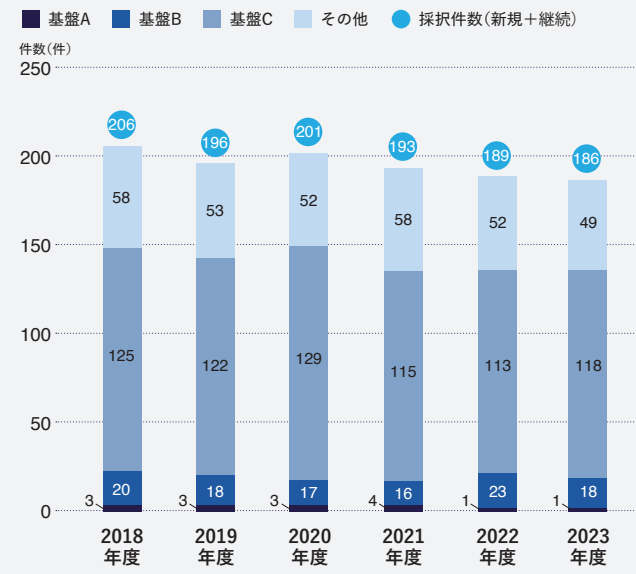
■ 学外研究助成応募・受入数の推移



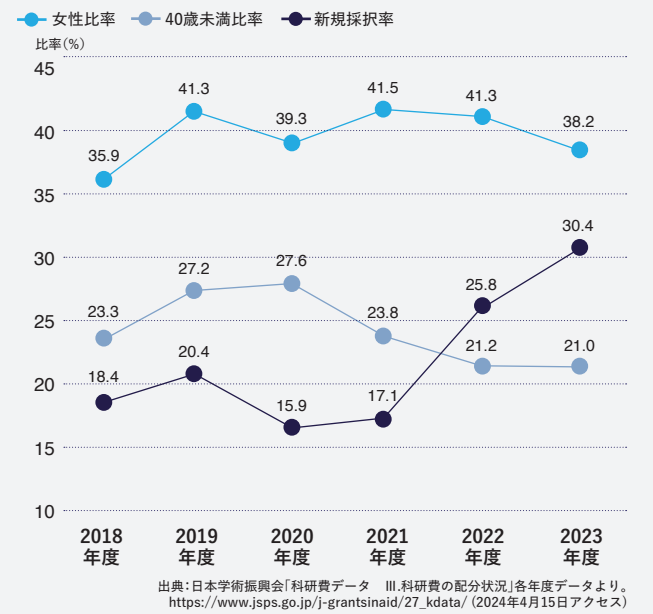
■ 特許出願件数



■ 科研費採択状況(新規+継続)



■ 科研費採択状況(新規+継続)

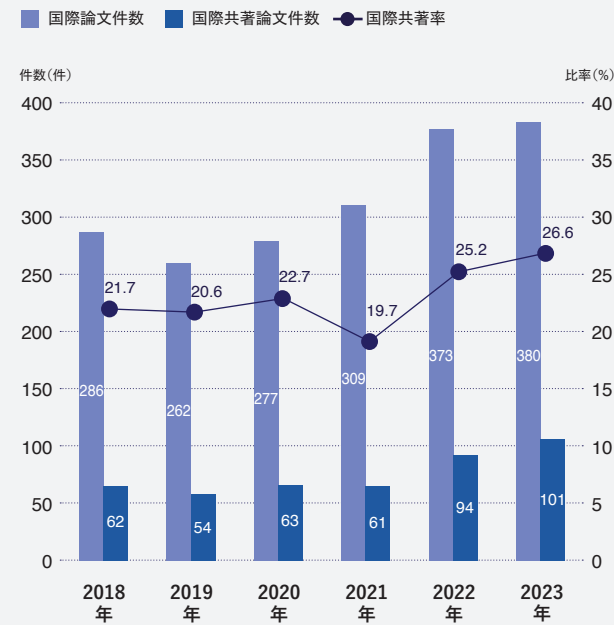


■ 科研費採択状況(2018年度～2023年度の累計採択件数)

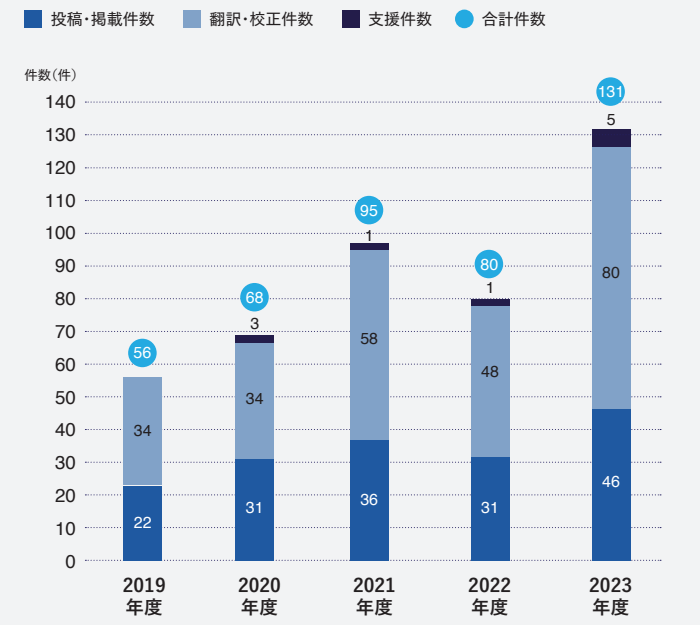
学術変革領域研究 (A)	2	国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	2
学術変革領域研究 (B)	1	若手研究	99
基盤研究 (A)	2	奨励研究	1
基盤研究 (B)	29	新学術領域研究 (研究領域提案型)	4
基盤研究 (C)	245	挑戦的研究 (開拓)	1
研究活動スタート支援	22	挑戦的研究 (萌芽)	3
国際共同研究加速基金 (海外連携研究)	1	特別研究員奨励費	10
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (A))	4	総計	426

出典: 国立情報学研究所「KAKEN・研究課題をさがす」「科学研究費助成事業データベース」より。
<https://kaken.nii.ac.jp/ja/> (2024年5月16日アクセス)

■ 国際論文・国際共著論文数の推移

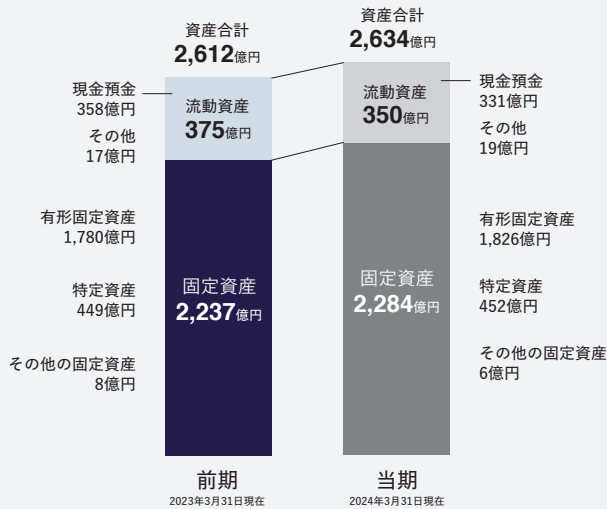


■ 国際学術誌への学術論文投稿助成制度件数の推移

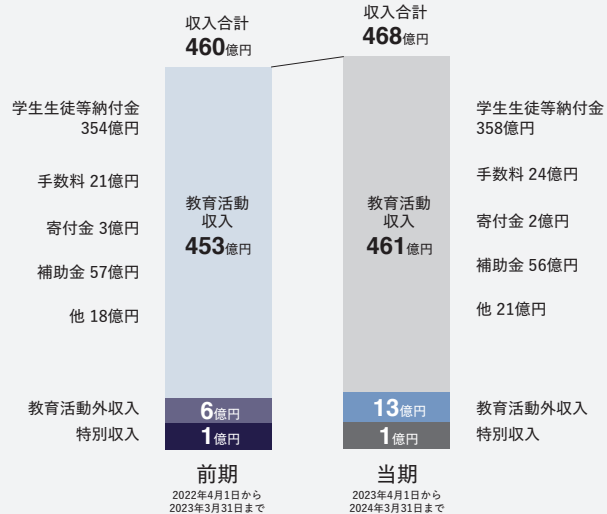


2023年度 決算

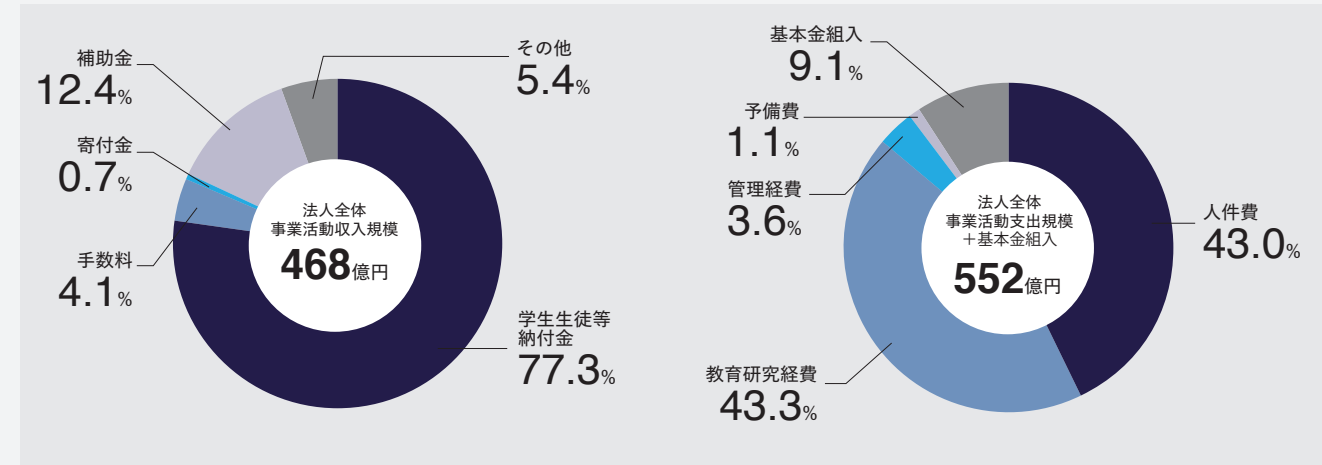
資産の状況



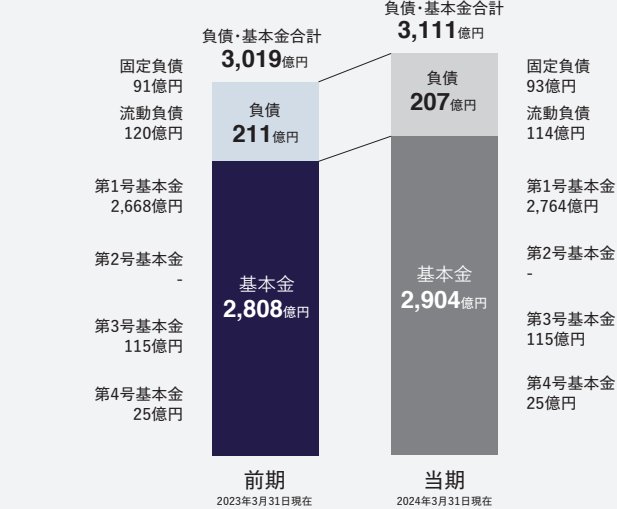
事業活動収入の状況



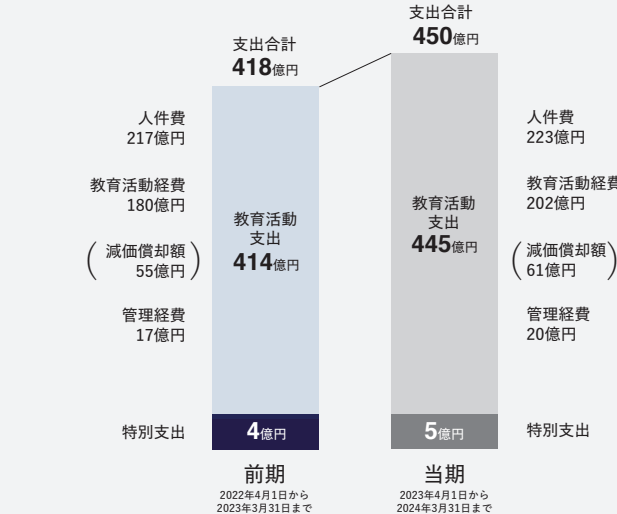
2024年度 予算規模



負債・基本金の状況



事業活動支出の状況



資金収支計算書

一事業年度における現金預金の収入および支出の一覧です。

(単位:百万円)					
収入の部	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
学生生徒等納付金収入	35,168	35,719	35,278	35,355	35,795
手数料収入	2,596	2,257	2,300	2,134	2,399
寄付金収入	224	366	282	317	175
補助金収入	4,238	5,277	5,538	5,763	5,643
資産売却収入	0	322	50	0	4,127
付随事業・収益事業収入	831	568	723	1,234	1,406
受取利息・配当金収入	166	336	724	436	1,300
雑収入	792	901	1,244	759	727
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	8,161	7,894	8,130	8,561	9,101
その他の収入	6,532	7,791	8,020	10,664	2,204
資金収入調整勘定	△9,761	△9,835	△9,171	△9,025	△9,600
前年度繰越支払資金	29,675	32,006	32,093	30,300	35,775
収入の部合計	78,623	83,603	85,212	86,497	89,053

(単位:百万円)					
支出の部	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
人件費支出	21,475	21,502	21,797	21,597	22,169
教育研究経費支出	10,885	12,164	11,884	12,557	14,050
管理経費支出	1,809	1,483	1,650	1,684	2,043
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	7,284	10,650	11,949	10,060	8,441
設備関係支出	1,525	1,894	1,354	3,285	2,184
資産運用支出	2,422	3,587	4,646	1,755	4,908
その他の支出	2,651	2,400	3,144	2,580	3,754
資金支出調整勘定	△1,435	△2,170	△1,512	△2,797	△1,640
翌年度繰越支払資金	32,006	32,093	30,300	35,775	33,145
支出の部合計	78,623	83,603	85,212	86,497	89,053

活動区分資金収支計算書

活動区分ごとの現金預金の収支の明細です。

(単位:百万円)					
科目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	43,784	44,874	45,158	45,292	46,082
教育活動資金支出計	34,014	35,148	35,331	35,825	38,181
差引	9,770	9,726	9,827	9,467	7,902
調整勘定等	215	△150	189	1,071	221
教育活動資金収支差額	9,985	9,576	10,016	10,538	8,123
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	3,585	5,273	5,095	8,081	59
施設整備等活動資金支出計	10,859	15,684	17,443	14,385	10,665
差引	△7,274	△10,412	△12,348	△6,304	△10,606
調整勘定等	△415	564	△214	974	△958
施設整備等活動資金収支差額	△7,689	△9,847	△12,562	△5,331	△11,564
小計(教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額)	2,296	△271	△2,546	5,208	△3,441
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,287	1,787	2,243	2,012	6,729
その他の活動資金支出計	1,321	1,455	1,497	1,739	5,900
差引	△33	332	746	273	829
調整勘定等	69	26	7	△5	△20
その他の活動資金収支差額	36	358	753	268	810
支払資金の増減額(小計 + その他の活動資金収支差額)	2,331	87	△1,793	5,476	△2,631
前年度繰越支払資金	29,675	32,006	32,093	30,300	35,775
翌年度繰越支払資金	32,006	32,093	30,300	35,775	33,145

事業活動収支計算書

経営状況や財政状態を正しく理解でき、「教育の持続性」に対する判断に役立ちます。

(単位:百万円)					
科目	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
教育活動収入					
事業活動収入の部					
学生生徒等納付金	35,168	35,719	35,278	35,355	35,795
手数料	2,596	2,257	2,300	2,134	2,399
寄付金	231	388	289	329	182
経常費等補助金	4,182	5,138	5,505	5,688	5,597
付随事業収入	831	568	723	1,234	1,406
雑収入	803	836	1,086	570	722
教育活動収入計	43,810	44,906	45,182	45,311	46,101
事業活動支出の部					
人件費	21,560	21,599	21,847	21,726	22,329
教育研究経費	15,359	16,662	17,258	18,049	20,169
管理経費	1,702	1,529	1,695	1,711	2,002
徴収不能額等	0	0	0	0	0
教育活動支出計	38,621	39,789	40,800	41,487	44,499
教育活動収支差額	5,189	5,118	4,382	3,824	1,602
教育活動外収入					
事業活動収入の部					
受取利息・配当金	166	336	724	436	1,300
その他の教育活動外収入	0	56	160	182	0
教育活動外収入計	166	392	884	618	1,300
事業活動支出の部					
借入金等利息	0	0	0	0	0
その他の教育活動外支出	90	0	0	13	0
教育活動外支出計	90	0	0	13	0
教育活動外収支差額	76	392	884	605	1,300
経常収支差額	5,265	5,509	5,266	4,429	2,902
特別収支					
事業活動収入の部					
資産売却差額	0	4	29	0	2
その他の特別収入	106	213	111	147	143
特別収入計	106	217	140	147	145
事業活動支出の部					
資産処分差額	205	205	1,263	356	399
その他の特別支出	69	0	0	3	81
特別支出計	274	205	1,263	359	479
特別収支差額	△168	12	△1,123	△213	△335
基本金組入前当年度収支差額	5,097	5,521	4,143	4,217	2,567
基本金組入額合計	△7,740	△1,275	△7,334	△5,987	△9,665
当年度収支差額	△2,644	4,246	△3,191	△1,770	△7,098
前年度繰越収支差額	△37,284	△39,928	△35,682	△38,873	△40,643
基本金取崩額	0	0	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△39,928	△35,682	△38,873	△40,643	△47,741

(参考)					
事業活動収入計	44,083	45,515	46,206	46,075	47,546
事業活動支出計	38,986	39,994	42,063	41,858	44,979



経済・財政 Economy & Finance

■ 貸借対照表

「学校法人の体力(財務状況・安全性)」を把握することができます。

(単位:百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
固定資産	210,768	216,818	222,766	223,747	228,383
流動資産	34,628	34,649	32,477	37,495	34,966
資産の部合計	245,396	251,467	255,243	261,242	263,349
固定負債	8,842	8,938	8,984	9,095	9,255
流動負債	10,322	10,777	10,363	12,033	11,414
負債の部合計	19,164	19,715	19,347	21,129	20,669
基本金	266,160	267,435	274,769	280,756	290,421
繰越収支差額	△39,928	△35,682	△38,873	△40,643	△47,741
純資産の部合計	226,232	231,753	235,896	240,113	242,680
負債および純資産の部合計	245,396	251,467	255,243	261,242	263,349

■ 財務指標

経営成績や財政状態を数値化することで、学校法人としての「安全性」や「成長性」を読み取ることができます。

主な財務比率比較

(単位:%)

比率名	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	全国平均 (医歯薬法人を除く)
事業活動収支差額比率[基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入]	11.6	12.1	9.0	9.2	5.4	4.6
学生生徒等納付金比率[学生生徒等納付金／経常収入]	80.0	78.9	76.6	77.0	75.5	73.5
寄付金比率[寄付金／事業活動収入]	0.6	1.0	0.8	0.9	0.6	1.9
補助金比率[補助金／事業活動収入]	9.6	11.6	12.0	12.5	11.9	14.4
人件費比率[人件費／経常収入]	49.0	47.7	47.4	47.3	47.1	50.9
教育研究経費比率[教育研究経費／経常収入]	34.9	36.8	37.5	39.3	42.5	36.1
管理経費比率[管理経費／経常収入]	3.9	3.4	3.7	3.7	4.2	8.5
借入金等利息比率[借入金等利息／経常収入]	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
基本金組入率[基本金組入額／事業活動収入]	17.6	2.8	15.9	13.0	20.3	8.9
減価償却額比率[減価償却額／経常支出]	11.6	11.3	13.2	13.3	13.8	11.5
人件費依存率[人件費／学生生徒等納付金]	61.3	60.5	61.9	61.5	62.4	69.3
基本金組入後収支比率[事業活動支出／事業活動収入－基本金組入額]	107.3	90.4	108.2	104.4	118.7	104.7
経常収支差額比率[経常収支差額／経常収入]	12.0	12.2	11.4	9.6	6.1	4.2
教育活動収支差額比率[教育活動収支差額／教育活動収入計]	11.8	11.4	9.7	8.4	3.5	2.3

※「経常収入」＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

■ 寄付金状況

寄付金の種類	2023年度	
	金額	件数
特別寄附金	157,100千円	3,099件
奨学寄付金	30,040千円	29件
教育・研究協力資金	109,499千円	2,958件
教育・研究協力資金(施設)	11,140千円	69件
その他の特別寄付金	6,421千円	43件
古本募金	152千円	32件
リユース募金	2千円	3件
その他	6,268千円	8件
一般寄付金	18,000千円	3件
現物寄付金	97,151千円	913件
合計	272,251千円	4,015件

■ 補助金状況

(単位:千円)

補助金の種類	2023年度 補助金額
国庫からの補助金	4,101,458
私立大学等経常費補助金	2,717,241
一般補助	2,517,208
特別補助	200,033
成長力強化に貢献する質の高い教育	8,160
社会人の組織的な受入れ	2,808
大学等の国際交流の基盤整備	47,936
大学院等の機能の高度化	120,026
令和5年梅雨前線・台風第2号、令和6年能登半島地震からの復興支援	103
私立大学等改革総合支援事業	21,000
私立学校施設整備費補助金・私立大学等研究設備整備費等補助金	43,408
国際化拠点整備事業費補助金(スーパーグローバル大学創成支援)	66,008
スーパーグローバル大学創成支援事業	46,491
大学の世界展開力強化事業	19,517
大学・高専成長分野転換支援基金助成金	4,000
大学等における修学の支援に関する法律による授業料等減免費交付金	1,264,553
若手・女性研究者奨励金	800
その他の補助金	5,448
地方公共団体等からの補助金	1,541,107
私立学校経常費補助金	1,420,707
授業料軽減補助金・入学金軽減補助金	63,842
その他の補助金	56,558
合計	5,642,565

学校法人東洋大学

組織図(2024年5月1日現在)



学部 Faculties	文学部 Faculty of Letters 哲学科／東洋思想文化学科★／日本文学文化学科★／英米文学科／史学科／教育学科★／国際文化コミュニケーション学科 経済学部 Faculty of Economics 経済学科★／国際経済学科／総合政策学科 経営学部 Faculty of Business Administration 経営学科★／マーケティング学科／会計ファイナンス学科 法学部 Faculty of Law 法律学科★／企業法学科 社会学部 Faculty of Sociology 社会学科★／国際社会学科／メディアコミュニケーション学科／社会心理学科 国際学部 Faculty of Global and Regional Studies グローバル・イノベーション学科／国際地域学科★ 国際観光学部 Faculty of International Tourism Management 国際観光学科	情報連携学部 Faculty of Information Networking for Innovation and Design 情報連携学科 福祉社会デザイン学部 Faculty of Design for Welfare Society 社会福祉学科／子ども支援学科／人間環境デザイン学科 健康スポーツ科学部 Faculty of Health and Sports Sciences 健康スポーツ科学科／栄養科学科 理工学部 Faculty of Science and Engineering 機械工学科／電気電子情報工学科／応用化学科／都市環境デザイン学科／建築学科 総合情報学部 Faculty of Information Sciences and Arts 総合情報学科 生命科学部 Faculty of Life Sciences 生命科学科／生体医工学科／生物資源学科 食環境科学部 Faculty of Food and Nutritional Sciences 食環境科学科／フードデータサイエンス学科／健康栄養学科
-----------------	--	--

大学院 Graduate Schools	文学研究科 Graduate School of Letters 哲学専攻／インド哲学仏教学専攻／日本文学文化専攻／中国哲学専攻／英文学専攻／史学専攻／教育学専攻／国際文化コミュニケーション専攻 経済学研究科 Graduate School of Economics 経済学専攻／公民連携専攻★ 経営学研究科 Graduate School of Business Administration 経営学・マーケティング専攻／ビジネス・会計ファイナンス専攻★ 法学研究科 Graduate School of Law 私法学専攻／公法学専攻 社会学研究科 Graduate School of Sociology 社会学専攻／社会心理学専攻 国際学研究科 Graduate School of Global and Regional Studies グローバル・イノベーション学専攻／国際地域学専攻 国際観光学研究科 Graduate School of International Tourism Management 国際観光学専攻 情報連携学研究科 Graduate School of Information Networking for Innovation and Design 情報連携学専攻	社会福祉学研究科 Graduate School of Social Welfare 社会福祉学専攻 ライフデザイン学研究科 Graduate School of Human Life Design 生活支援学専攻／ヒューマンライフ学専攻／人間環境デザイン専攻 健康スポーツ科学研究科 Graduate School of Health and Sports Sciences 健康スポーツ科学専攻／栄養科学専攻 理工学研究科 Graduate School of Science and Engineering 機能システム専攻／電気電子情報専攻／応用化学専攻／都市環境デザイン専攻／建築学専攻／建築・都市デザイン専攻 総合情報学研究科 Graduate School of Information Sciences and Arts 総合情報学専攻 生命科学研究科 Graduate School of Life Sciences 生命科学専攻／生命医工学専攻 食環境科学研究科 Graduate School of Food and Nutritional Sciences 食環境科学専攻
-------------------------	---	--

研究所 Research Institutes	人間科学総合研究所／現代社会総合研究所／東洋学研究所／アジア文化研究所／地域活性化研究所／工業技術研究所／ライフイノベーション研究所／バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター／アジアPPP研究所／グローバル・イノベーション学研究センター／情報連携学術実業連携機構
----------------------------	---

大学院・学部併設センター Research Institutes and Centers affiliated with Graduate Schools and Faculties	生体医工学研究センター／PPP研究センター／国際共生社会研究センター／福祉社会開発研究センター／産学協同教育センター
--	--

★印は学部の場合は第2部・イブニングコースを設置していること、大学院の場合は主として夜間に授業を行う課程を示す

2024年6月発行／学校法人東洋大学 編集／総務部広報課



キャンパス・施設／附属学校等

Campus Facilities etc.

キャンパス・施設

白山キャンパス Hakusan Campus



文学部／経済学部／経営学部／法学部／社会学部／国際学部／国際観光学部／
文学研究科／経済学研究科／経営学研究科／法学研究科／
社会学研究科／国際学研究科／国際観光学研究科

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 TEL.03-3945-7224
5-28-20 Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

赤羽台キャンパス Akabanedai Campus



情報連携学部／福祉社会デザイン学部／健康スポーツ科学部／
情報連携学研究科／社会福祉学研究科／ライフデザイン学研究科／
健康スポーツ科学研究科

〒115-8650 東京都北区赤羽台1-7-11 TEL.03-5924-2100
1-7-11 Akabanedai, Kita-ku, Tokyo

川越キャンパス Kawagoe Campus



理工学部／総合情報学部／
理工学研究科／総合情報学研究科

〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100 TEL.049-239-1300
2100 Kujirai, Kawagoe-shi, Saitama

朝霞キャンパス Asaka Campus



生命科学部／食環境科学部／
生命科学研究科／食環境科学研究科

〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1
48-1 Oka, Asaka-shi, Saitama

総合スポーツセンター General Sports Center

〒174-0053 東京都板橋区清水町92-1 TEL.03-6454-3340
92-1 Shimizu-cho, Itabashi-ku, Tokyo

附属学校等

東洋大学附属 姫路中学校・高等学校

Toyo University Himeji Junior and
Senior High School

〒671-2201兵庫県姫路市書写1699
TEL.079-266-2626
1699 Shosha, Himeji-shi, Hyogo

東洋大学附属 牛久中学校・高等学校

Toyo University Ushiku Junior and
Senior High School

〒300-1211 茨城県牛久市柏田町
1360-2
TEL.029-872-0350
1360-2 Kashiwadacho, Ushiku-shi,
Ibaraki

東洋大学 京北中学高等学校

Toyo University
Keihoku Junior and Senior High School

〒112-8607 東京都文京区白山
2-36-5
TEL.03-3816-6211
2-36-5 Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo

東洋大学附属 京北幼稚園

Toyo University
Keihoku Kindergarten

〒113-0021東京都文京区本駒込
2-13-5
TEL.03-3941-7090
2-13-5 Honkomagome, Bunkyo-ku,
Tokyo